

「第2次健康おたる21」中間評価 アンケート調査報告書（20歳以上）

平成29年3月

小樽市

目 次

I 調査の概要

- i) 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ii) 調査対象及び調査方法等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- iii) 調査の項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- iv) 回収結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- v) 本報告書の見方について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

II 調査の結果

- i) 回答者の属性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ii) 食生活について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- iii) たばことアルコールについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- iv) 1日の活動量（運動量）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- v) 血圧・特定健診・がん検診について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- vi) 生きがい、相談相手の有無、睡眠の実態について・・・・・・・・ 33
- vii) 口腔保健の行動・知識の有無について・・・・・・・・・・ 37

資料

依頼文

アンケート

I 調査の概要

i)調査の目的

本調査は、市民の健康に関する意識及び行動を把握し、既存資料とあわせて小樽市健康増進計画の見直しに反映させることを目的とする。

ii)調査対象及び調査方法等

調査対象	小樽市内に居住する20歳以上の男女
サンプル数	1,900
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出（平成28年5月1日現在） 男女別・年齢別割付法
調査方法	調査対象者へ調査票を送付し、返信用封筒により回収
調査期間	平成28年6月15日～6月30日

iii)調査の項目

- 回答者の属性について（5問）
- 食生活の実態と栄養に関する知識について（11問）
- たばことアルコールについて（6問）
- 1日の活動量・運動量について（2問）
- 血圧・特定健診・がん検診について（22問）
- 生きがい、相談相手の有無、睡眠の実態について（6問）
- 口腔保健の行動・知識の有無について（6問）

iv)回収結果

配布数	1,900
回収数（率）	494（26.0%）
有効回収数（率）	486（25.6%）

回収状況表

		発送数	有効回収数	有効回収率
合計数		1,900	486	25.6%
性別	男性	842	206	24.5%
	女性	1,058	280	26.5%
年代別	20歳代	158	25	15.8%
	30歳代	198	22	11.1%
	40歳代	279	58	20.8%
	50歳代	267	69	25.8%
	60歳代	410	144	35.1%
	70歳代	326	113	34.7%
	80歳代	213	46	21.6%
	90歳以上	49	9	18.4%

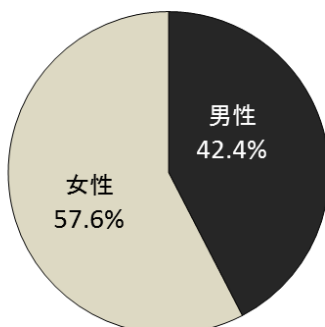
v)本報告書の見方について

- 比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
- 基数となるべき実数は、n=000として掲載し、各比率はnを100%として算出した。
- 設問の中で、3つまで選択する間については、4つ以上選択した回答については無効とした。
- 男女間でのカイ二乗検定を行い、 $P<0.01$ を有意差あり、 $P<0.05$ を傾向ありとした。
- その他の回答については、自由記載となっており、記載どおりに掲載した。

II 調査の結果

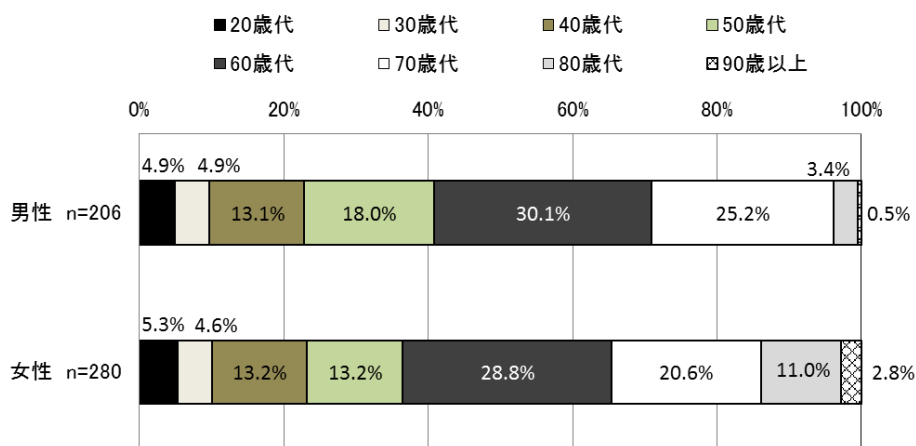
i)回答者の属性

性別について (n=486)



性別については、女性の割合が57.6% (280人)、男性が42.4% (206人) となっており、回答率は女性の方が高い。
($P<0.01$)

年代について



回収者の年代は、男女とも60歳代が多かった。

体重及び身長について

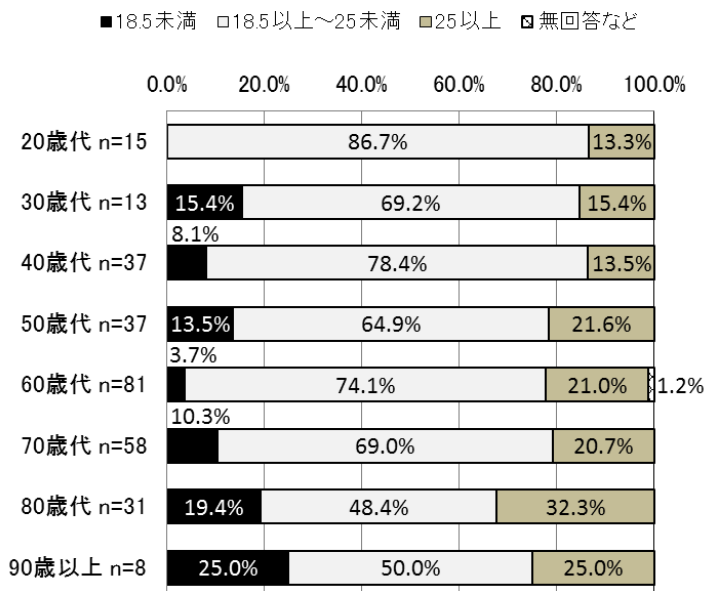
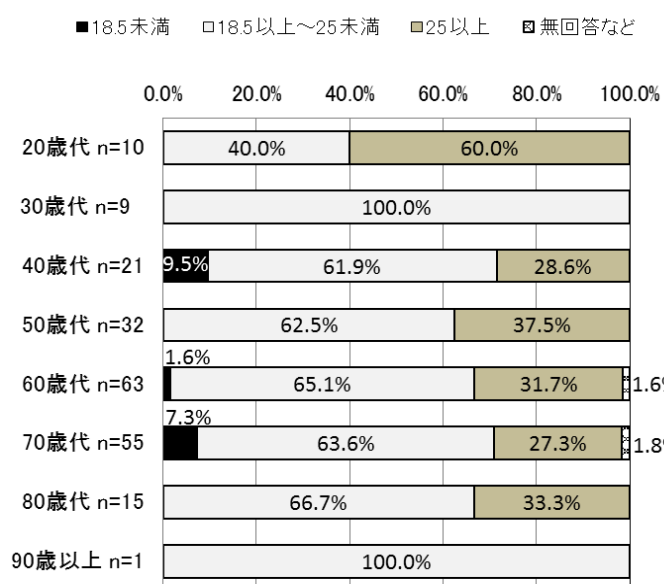
体重と身長については、体格指数（Body Mass Index：BMI、以下BMIとする）を計算した。

BMIは、体重（kg）÷ 身長（m）÷ 身長（m）で算出し、22.0が理想体重といわれている。

18.5未満を「痩せ」、18.5以上25.0未満が「標準体重」、25.0以上を「肥満」としている。

男性（n=206）

女性（n=280）



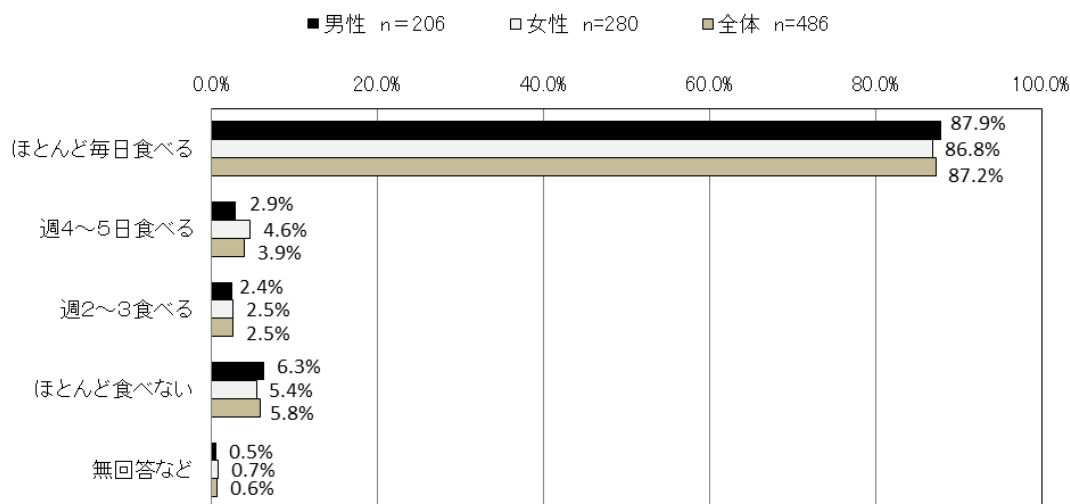
肥満の方は、20歳代男性、80歳代女性に多かった。

痩せの方は、男性では40歳代と70歳代、女性では80歳代と90歳代で多かった。

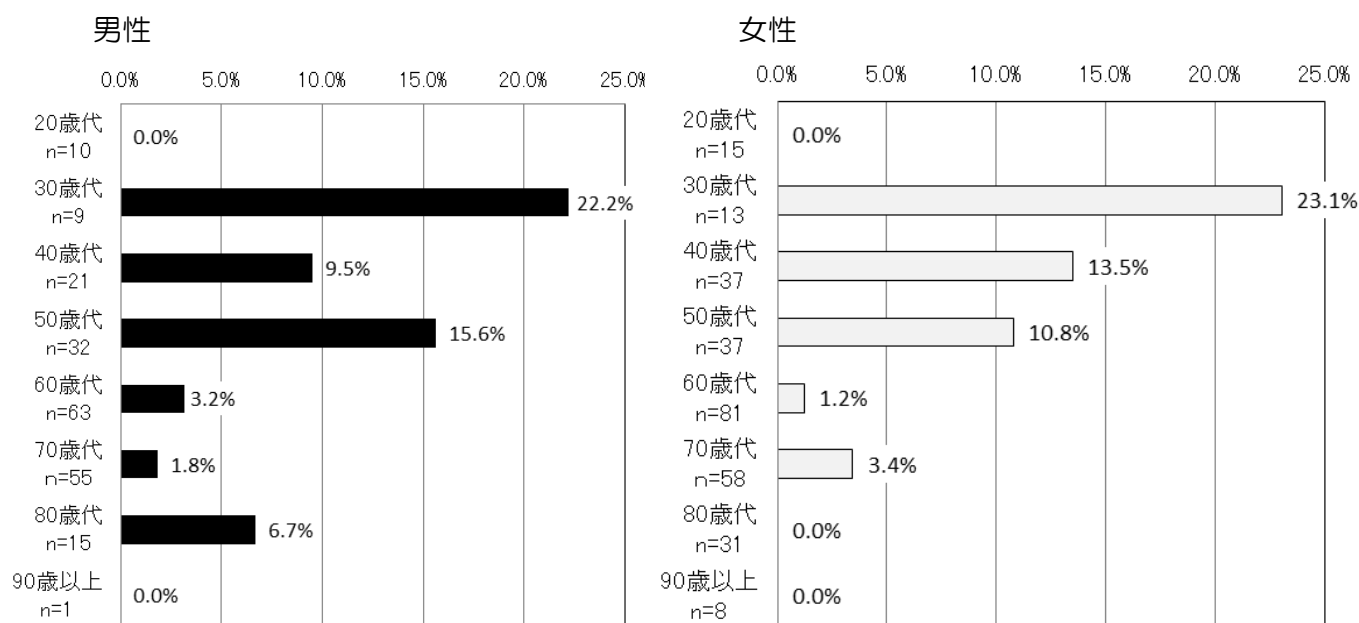
ii)食生活について

問1 朝食の摂取状況について

「あなたは、ふだん朝食を食べますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



習慣的に朝食をほとんど食べない方の割合

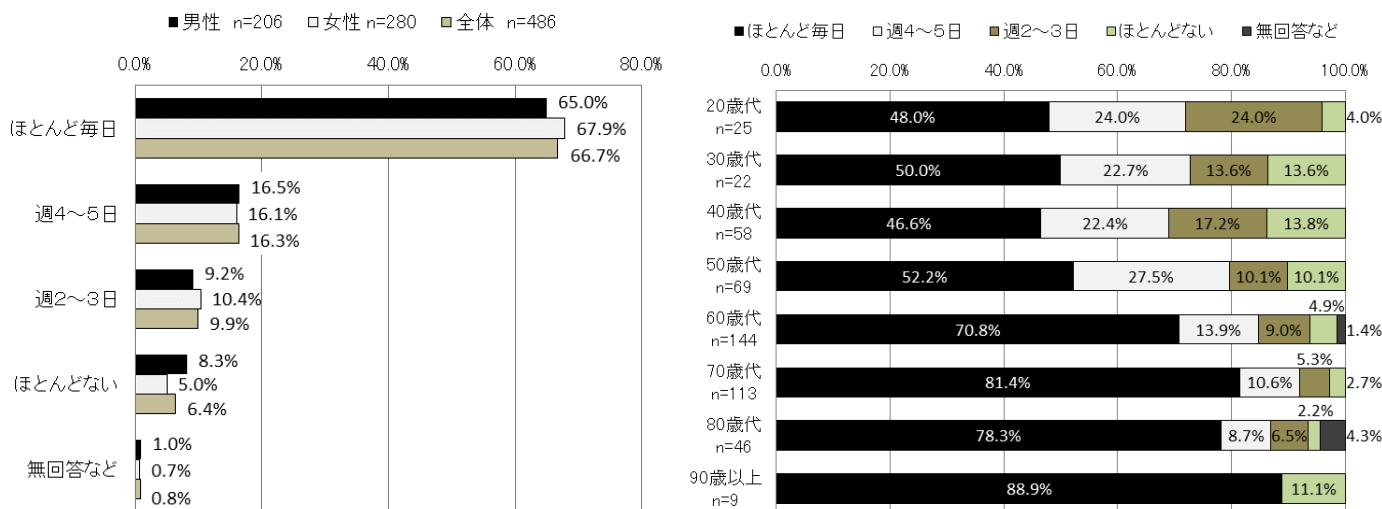


朝食の摂取状況については、習慣的に朝食を「ほとんど毎日食べる」方の割合は、全体では87.2%、男性では87.9%、女性では86.8%であった。朝食の摂取状況において、男女の有意差は見られなかった。(P>0.05)

また、習慣的に朝食を「ほとんど食べない」方の割合は、全体では5.8%、男性では6.3%、女性では5.4%であり、年齢別にみると男女ともに30歳代が高かった。

問2 食事のバランスについて

「あなたは、1日に2回以上、主食、主菜、副菜の全てをそろえて食事をするのが、週に何日ありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

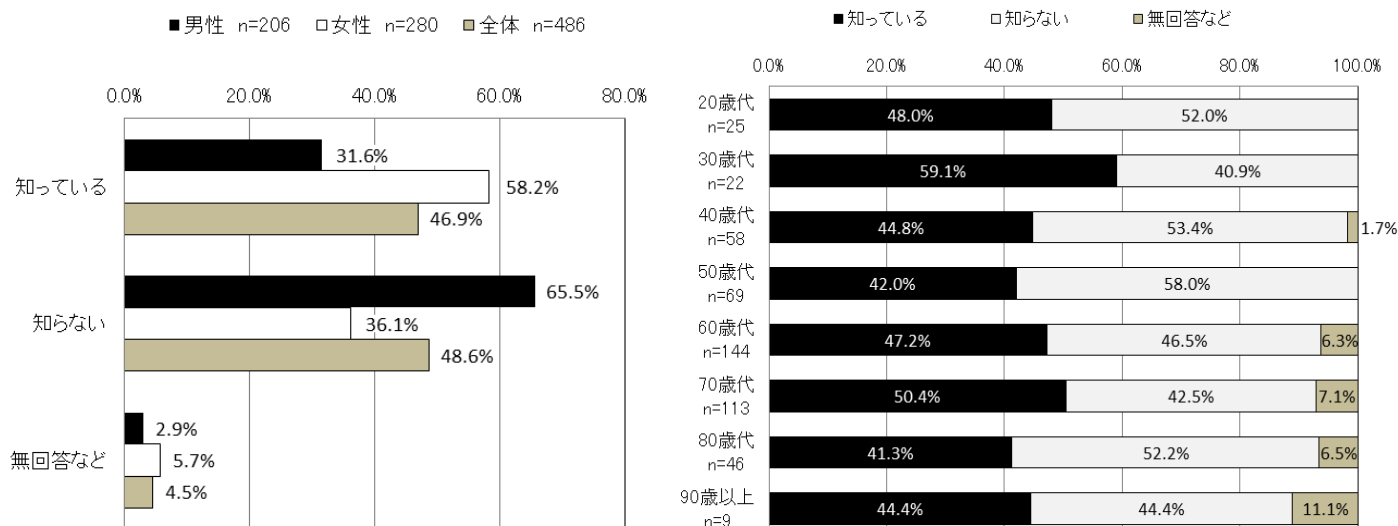


主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上「ほとんど毎日」食べている方の割合は、全体では66.7%、男性では65.0%、女性では67.9%であった。

年齢別にみると20歳代で48%、30歳代で50.0%、40歳代で46.6%と若い世代は低かった。

問3 食事バランスガイドの認知度について

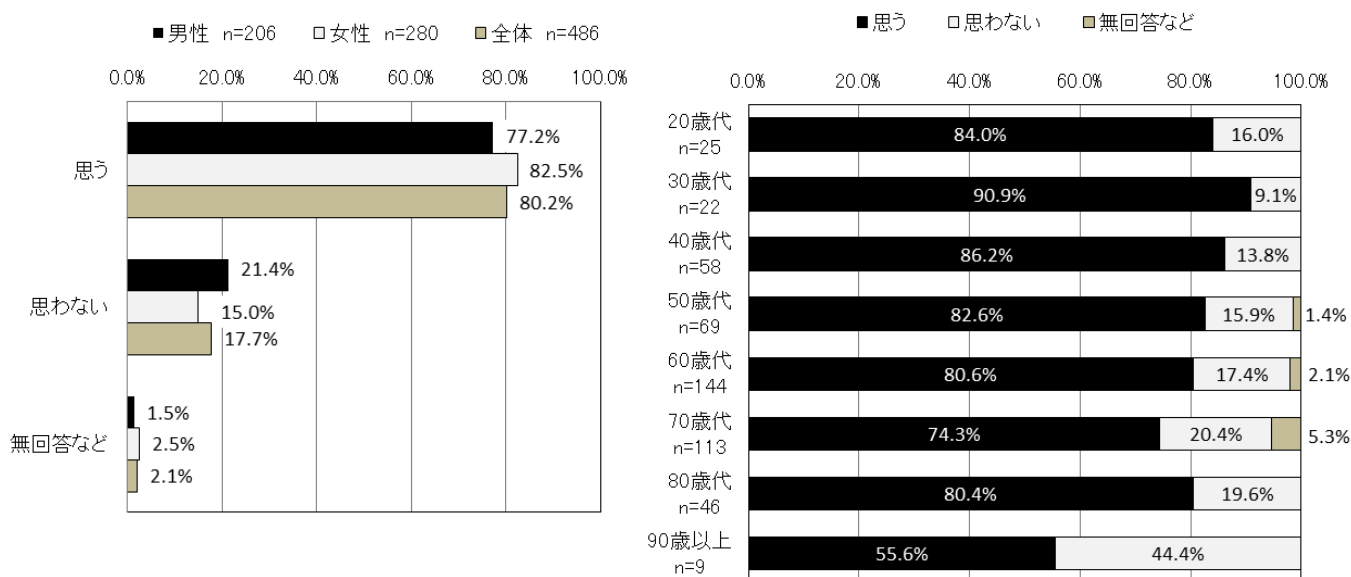
「あなたは、「食事バランスガイド」について知っていますか。」



食事バランスガイドを知っている方の割合は、全体で46.9%、男性が31.6%、女性が58.2%であった。食事バランスガイドについて「知っている」と答えた方は、男性より女性の方が多かった。(P<0.01)

問4 食事バランスガイドを参考にしたいかについて？

「あなたは「食事バランスガイド」を参考にしたいと思いますか。」

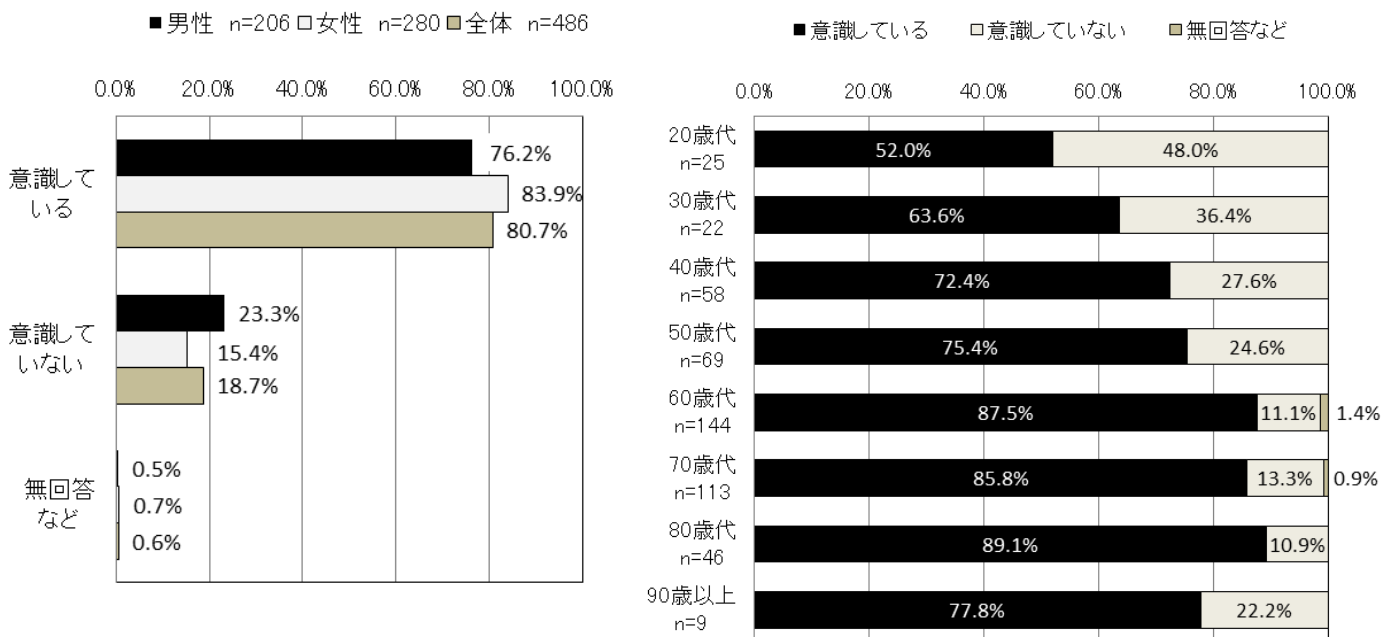


食事バランスガイドを参考にしたいと「思う」と回答した方が全体で 80.2%、男性が 77.2%、女性が 82.5%であった。

年代別に見ると 20 歳代で 84%、30 歳代 90.9%、40 歳代で 86.2%と高い。

問5 食生活で意識していることについて

「あなたは、生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから食生活に気をつけるように意識していますか。」

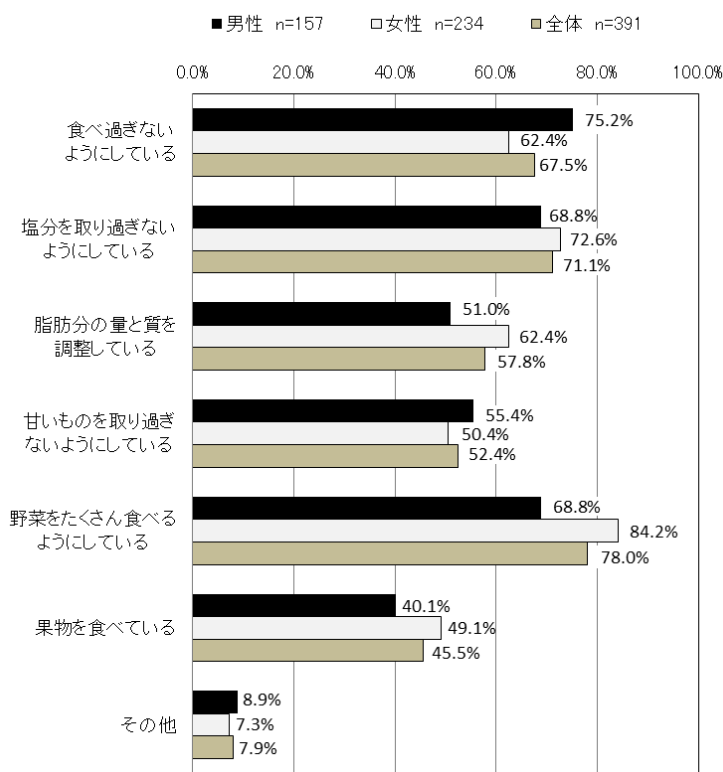


食生活を「意識している」方の割合は、全体で 80.7%、男性 76.2%、女性 83.9%であった。

（食生活を意識している方の割合において）男女間で有意な差は見られなかった。（ $P > 0.05$ ）年代別に見ると、60 歳代が 87.5%、70 歳代が 85.8%、80 歳代が 89.1%と高い。

問6 食生活で意識していることについて

「問5で「1」を選んだ方にお尋ねします。それはどのようなことですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



食生活で気をつけていることは、全体では、「野菜をたくさん食べるようにしている」が78.0%、「塩分を取り過ぎないようにしている」が71.1%、「食べ過ぎないようにしている」が67.5%で高かった。

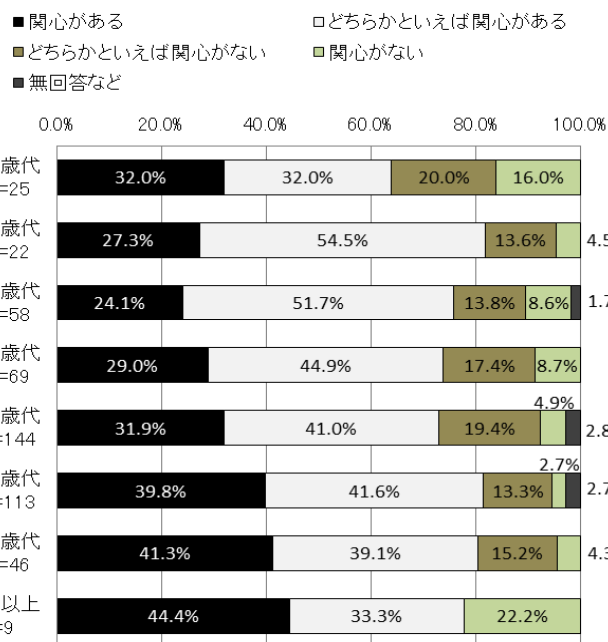
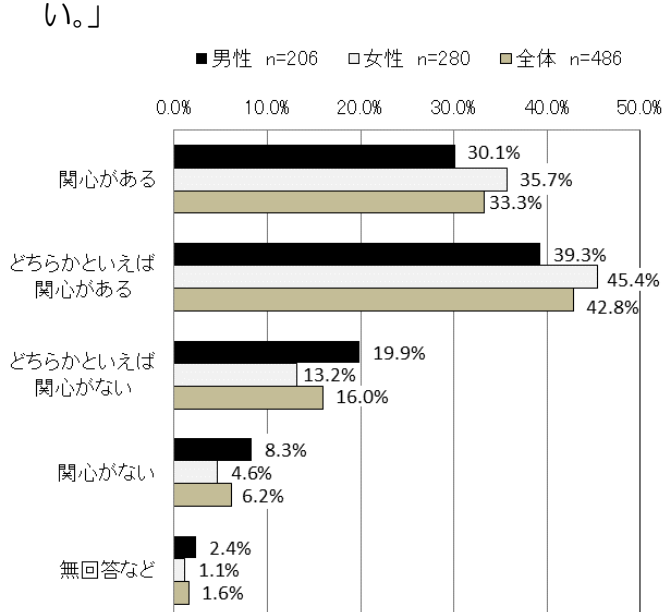
「野菜をたくさん食べるようにしている」と答えた方は男性より女性のほうが多い。(P<0.01)

「塩分を取り過ぎないようにしている」と答えた方は男女に差はなかった。(P>0.05)

「食べ過ぎないようにしている」と答えた方は女性より男性のほうが多い。(P<0.01)

問7 食育の関心度について

「あなたは、「食育」について関心がありますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

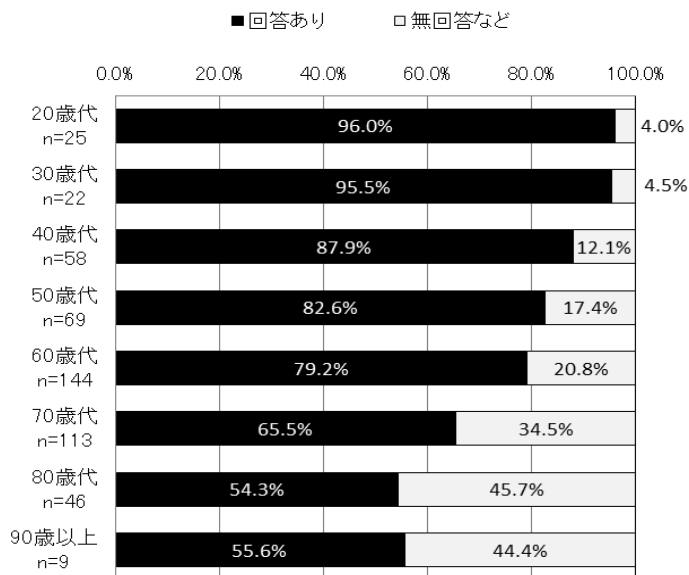
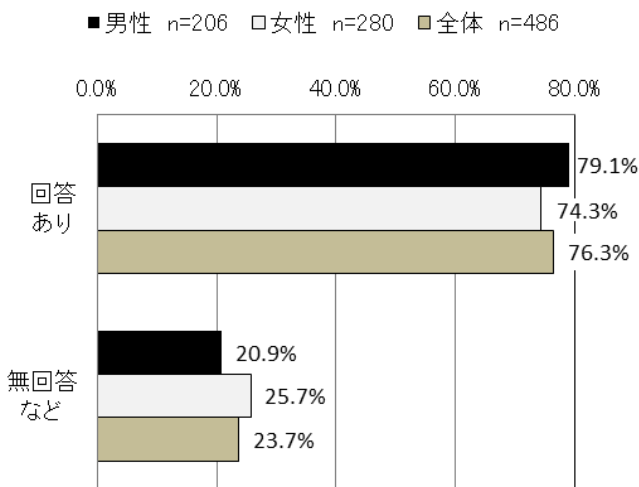


食育について「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と回答した方が全体で76.1%、男性69.4%、女性81.1%であった。

食育について関心がある人の割合について、男女間で有意な差は見られなかった。(P>0.05)

問8 郷土料理について

「あなたが知っている小樽を代表とする食品（菓子類、飲み物を含む）郷土料理は、何ですか。」



(回答内容 (自由記載))

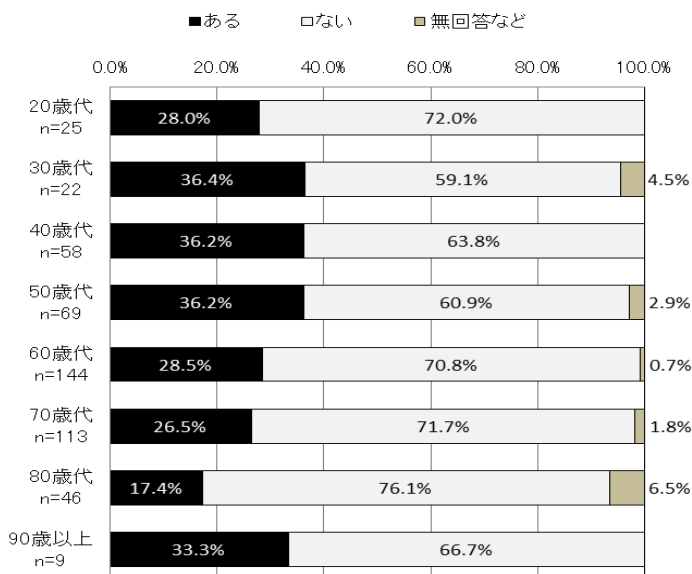
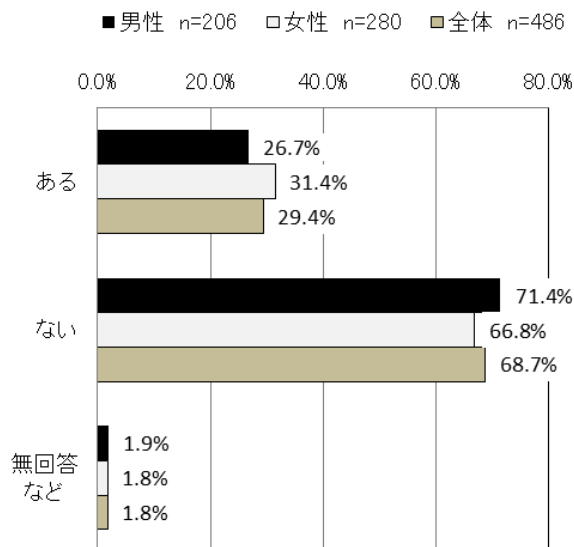
- 菓子類 (255 件)
- 寿司 (123 件)
- 海産物 (189 件)
- かまぼこ (101 件)
- 地酒・ワイン・水 (133 件)
- あんかけ焼きそば (91 件)
- 若鶏半身揚げ、ザンギ (36 件)
- 魚介を使った料理 (29 件)

小樽を代表とする食品(菓子類、飲み物を含む)郷土料理を知っている方の割合は、全体で 76.3%、男性 79.1%、女性 74.3%であった。

年代別に見ると、20 歳代、30 歳代と若い世代が知っているとは回答した方が多かった。

問9 「食」に関するイベントの参加について

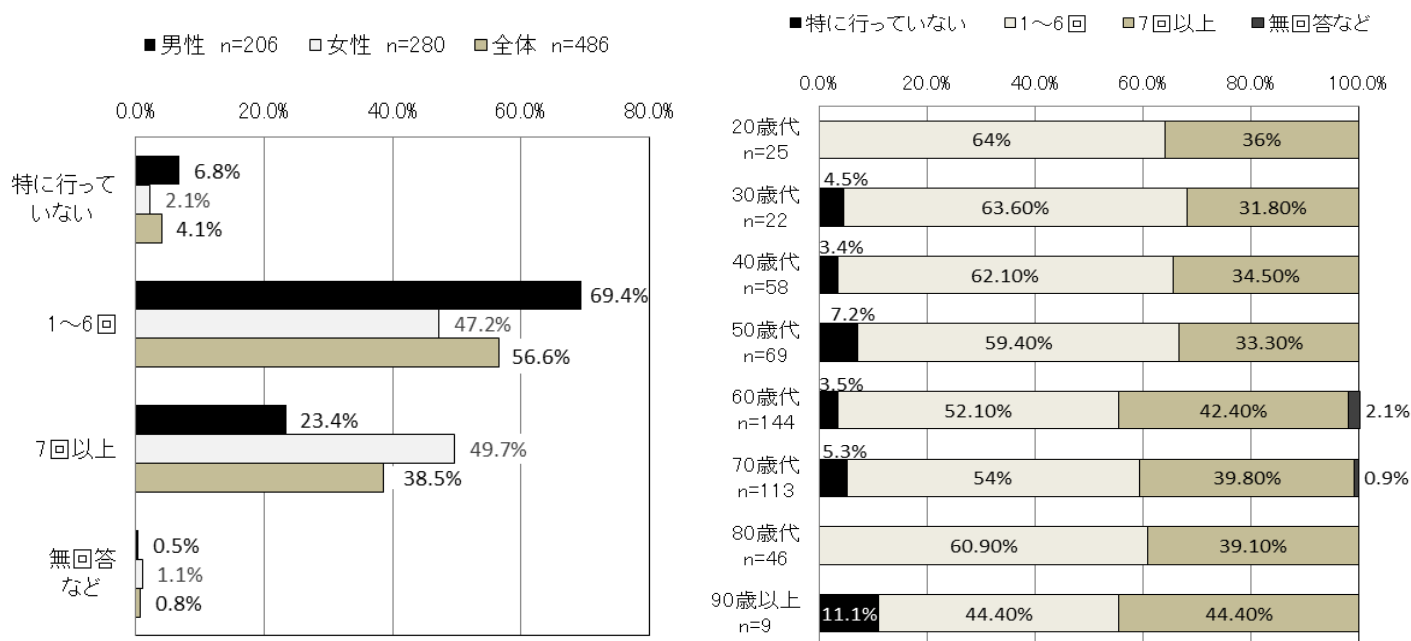
「あなたは、小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことがありますか。」



小樽市内で開催された「食」に関するイベントや地域の行事に参加したことが「ある」方の割合は、全体で 29.4%、男性 26.7%、女性 31.4%であった。

問10 行事食について

「あなたの御家庭ではどのような行事食を行っていますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。（行事食は手作りでなくても構いません）」

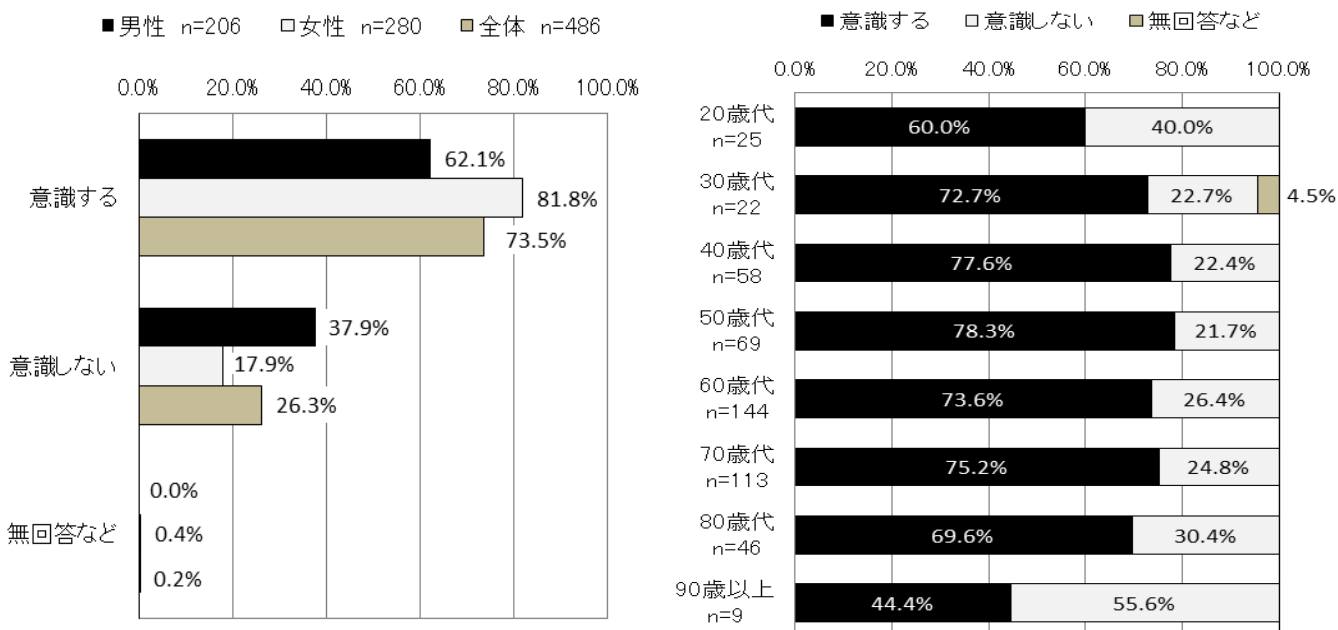


御家庭で行事食を行っている回数は全体では1~6回行っている方が56.6%で多かった。

男性では1~6回行っている方が多く69.4%、女性では7回以上行っている方が多く49.7%であった。行事食を行っている回数は平均すると全体で5.5回であった。

問11 食材を選ぶ際の基準について

「あなたは、食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を意識しますか。」

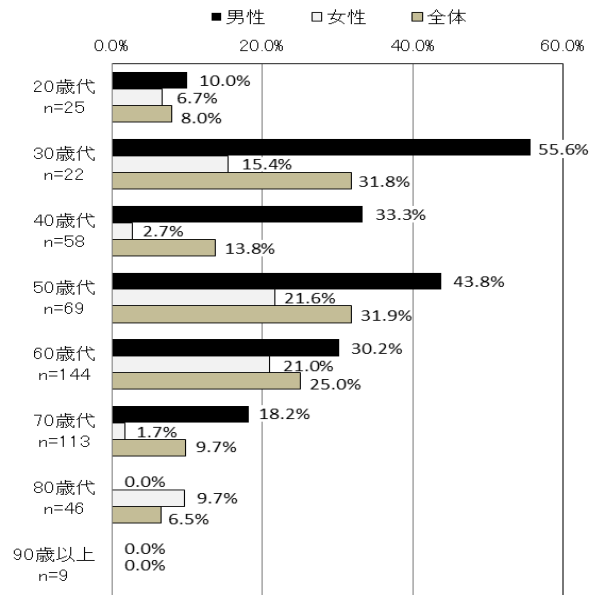
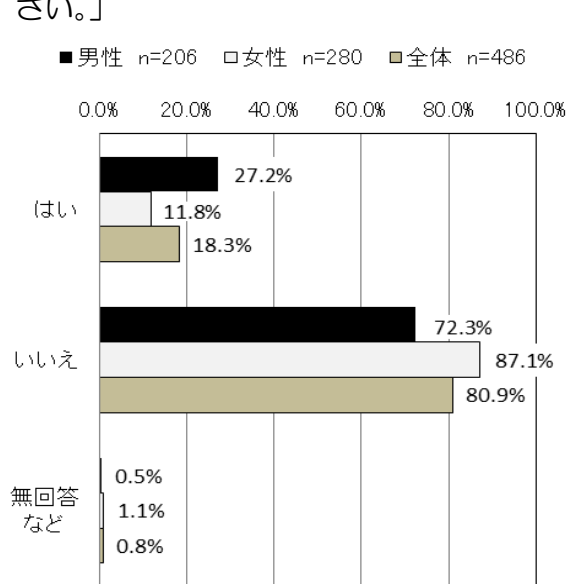


食材を選ぶときに栄養成分表示や産地等を「意識する」方の割合は、全体で73.5%、男性62.1%、女性81.8%であった。女性の意識する割合が高かった。(P<0.01)

iii) たばことアルコールについて

問12 喫煙について

「あなたはここ1か月間に、たばこを吸ったことがありますか。該当する番号に○印をつけてください。」

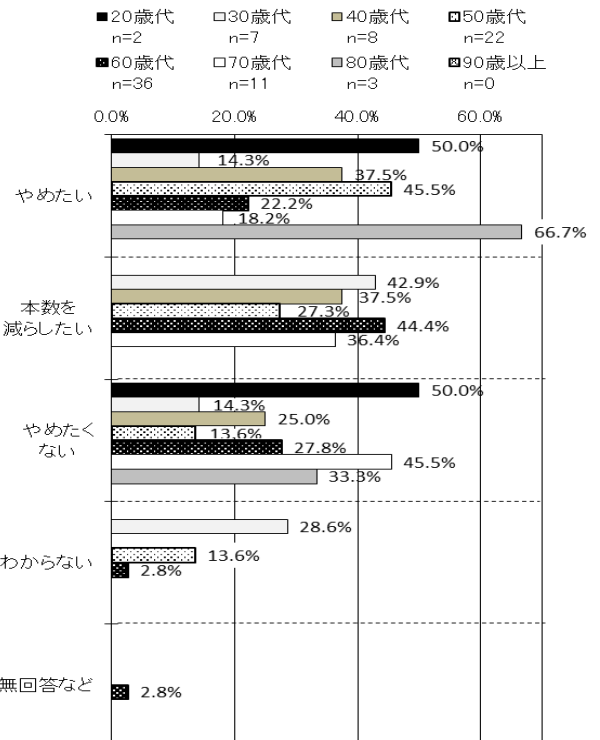
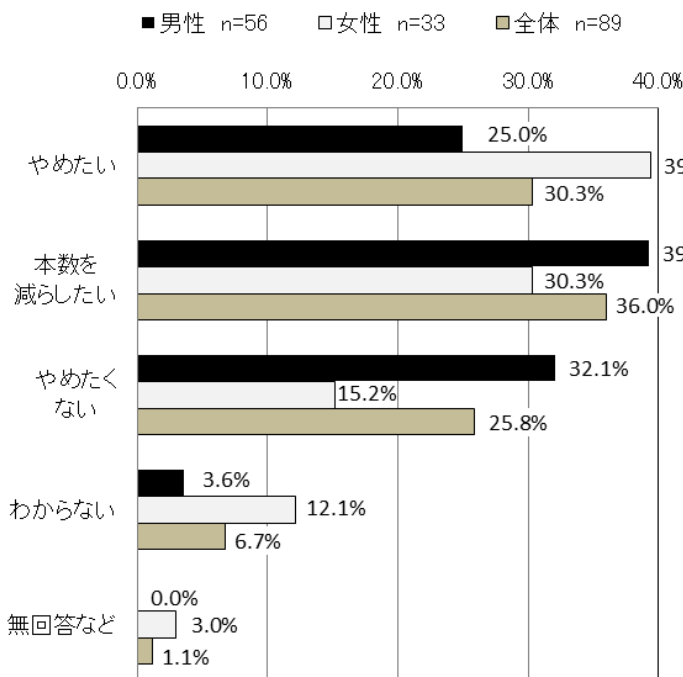


全体の喫煙率は18.3%、男性27.2%、女性11.8%であった。喫煙していると回答した方は、男性が女性より多かった。(P<0.01)

特に、30歳代、50歳代の男性で喫煙率が高かった。

問13 禁煙について

「問12で「1」を選んだ方にお尋ねします。たばこをやめたいと思いますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

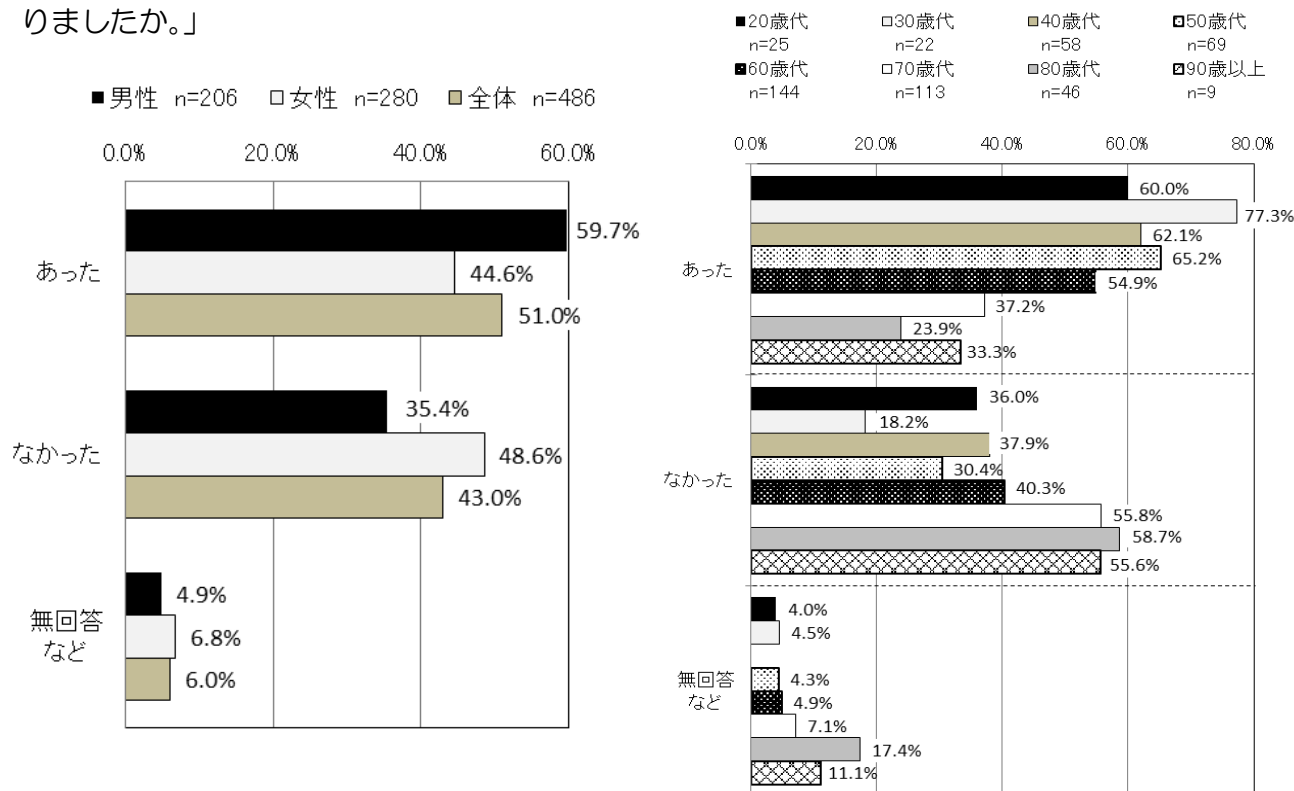


全体で、「本数を減らしたい」が36.0%、「やめたい」が30.3%と多かった。

回答数の多い60歳代でも、本数減少を希望する方が多かった。

問14 受動喫煙について

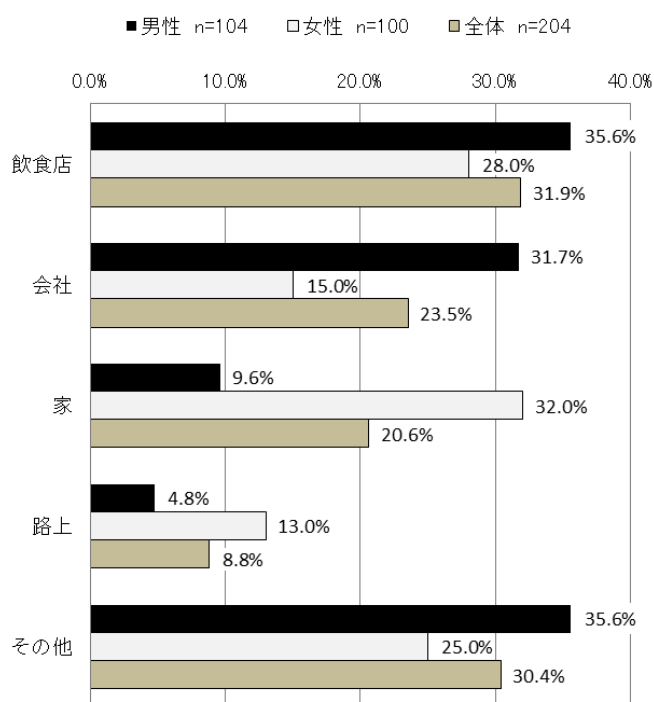
「あなたは、この1か月間に、自分以外の方が吸っていたたばこの煙を吸う機会（受動喫煙）がありましたか。」

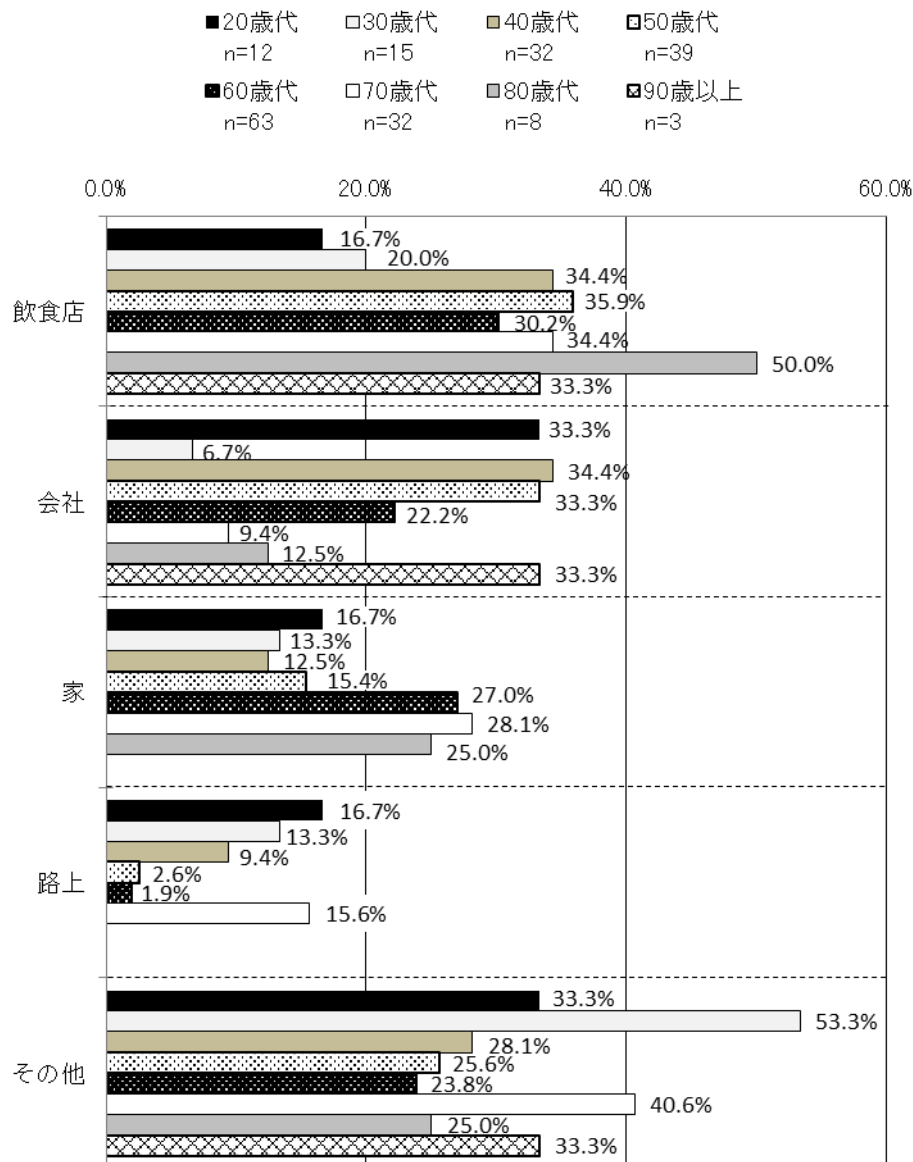


全体の51.0%に受動喫煙の機会があり、男性が女性より多い傾向にあった。(P<0.05) 年代別では20~60歳代の方が多かった。

問15 受動喫煙の場所について

「問14で「1」と回答した方にお尋ねします。それは具体的にどのような場所でしたか。」





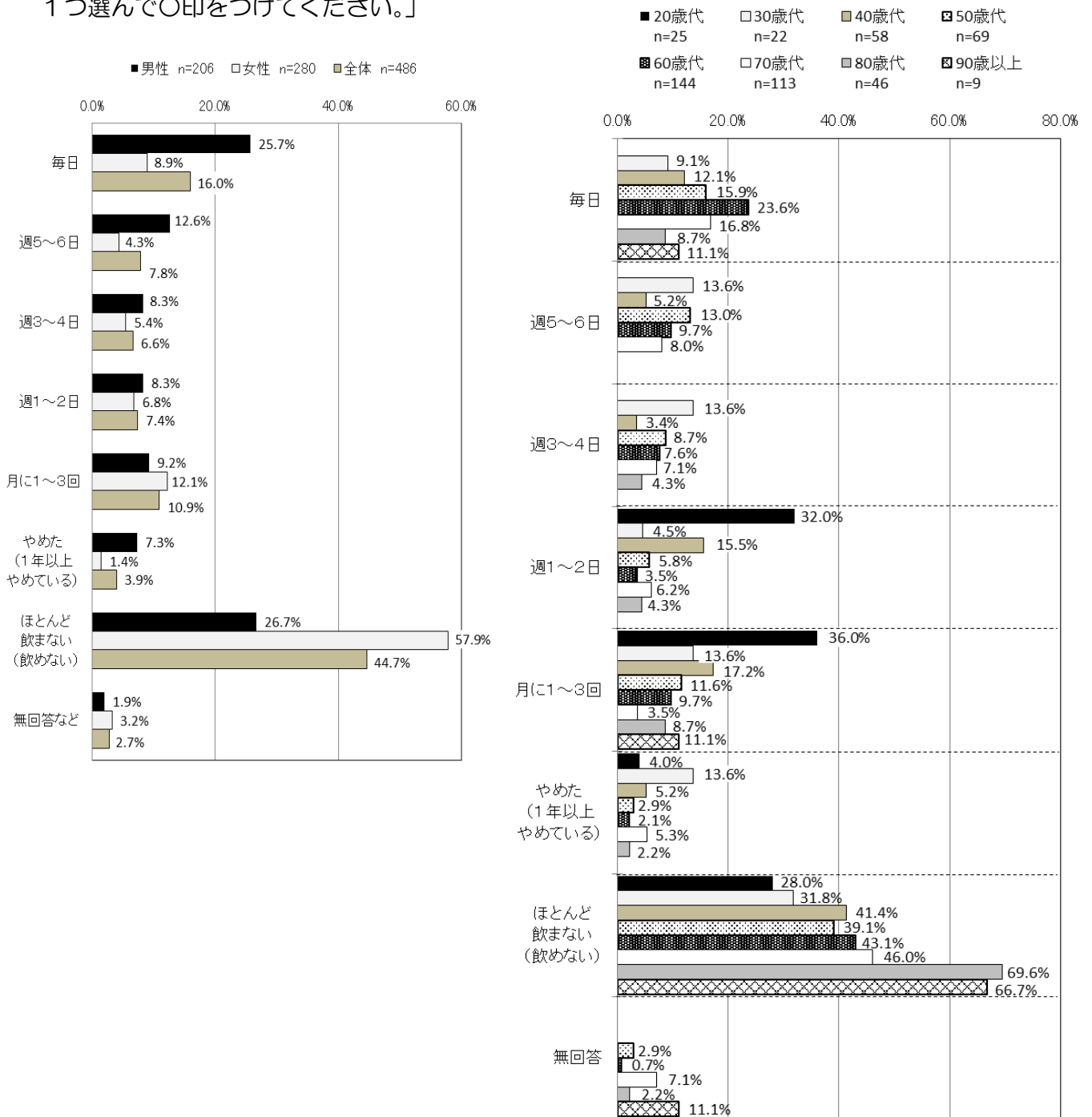
受動喫煙した場所について、全体では「飲食店」が31.9%と多かった。
女性では家が32.0%と多かった。

その他の回答

- ・喫煙所（14人）
- ・店、建物、娯楽施設（12人）
- ・車の中（12人）
- ・バス停（7人）
- ・店（駐車場）（7人）
- ・小樽の人はいたる所で喫煙している（2人）
- ・集会時（1人）
- ・街の待機場所（1人）
- ・公共の場（1人）
- ・親や友達（1人）
- ・レジャー（1人）
- ・イベント会場（1人）
- ・運動の為に集まっているとき、1人が数回吸うので避けられない（1人）
- ・友達も吸っている的时候会っているとき（1人）
- ・祭典会場での隣人が吸っていた（1人）
- ・友人、知人との会話中（1人）
- ・喫煙していれば周りにも喫煙者がいる（1人）
- ・葬儀場（1人）
- ・家族の看病で毎日通過する病院玄関の外が建物外の喫煙所になっている（1人）

問16 アルコールの摂取頻度について

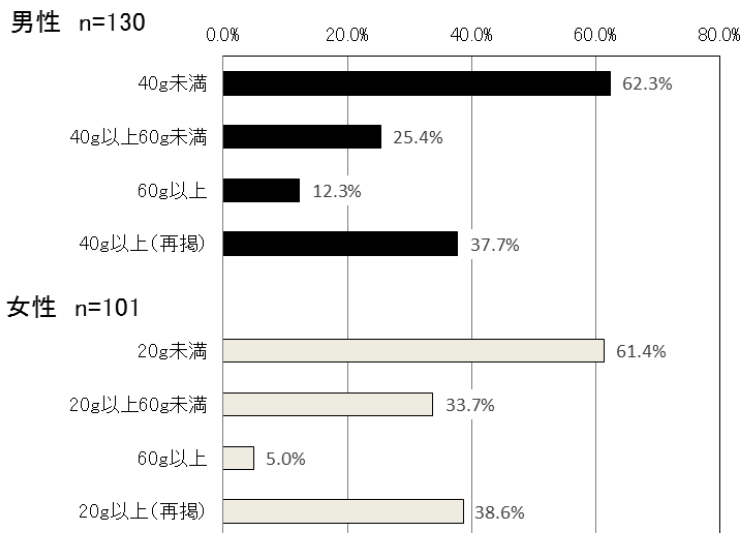
「あなたは週に何日くらいお酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



「毎日」、「週5~6日」、「週3~4日」、「週1~2日」と回答した方は、男性が女性より多かった。(P<0.01)

問17 1日のアルコール摂取量について

「問16で「1」「2」「3」「4」「5」を選んだ方にお尋ねします。お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。清酒に換算（下記の表を参照）し、該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

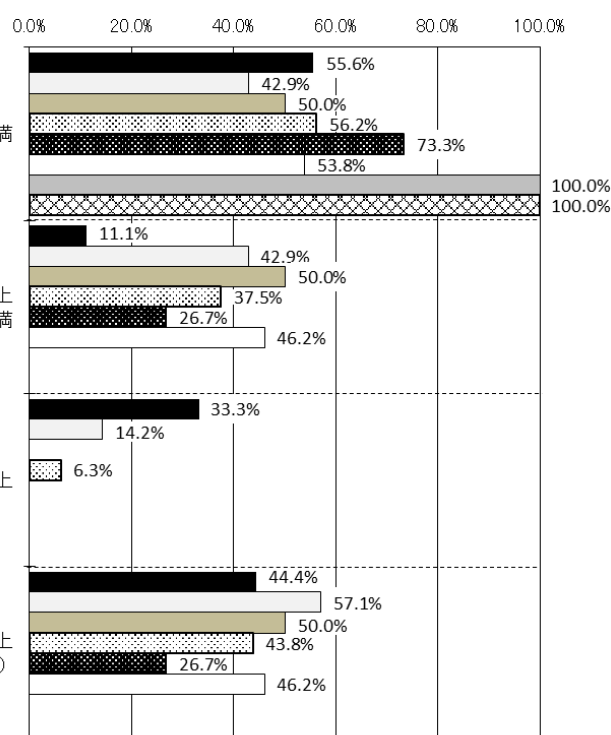
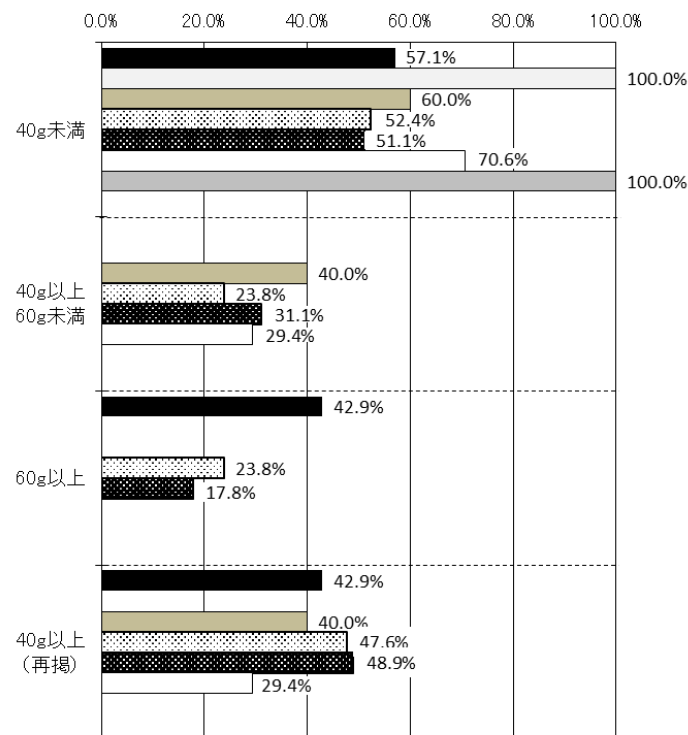


男性

女性

■20歳代 □30歳代 ▨40歳代 ▩50歳代 ■60歳代 □70歳代 ▨80歳代 ▩90歳以上
 n=7 n=5 n=10 n=21 n=45 n=34 n=8 n=0

■20歳代 □30歳代 ▨40歳代 ▩50歳代 ■60歳代 □70歳代 ▨80歳代 ▩90歳以上
 n=9 n=7 n=20 n=16 n=30 n=13 n=4 n=2



※健康日本21では、生活習慣病のリスクを高める飲酒量を1日の平均飲酒量が男性で40g以上、女性で20g以上と定義しています。WHOのガイドラインにおいてもアルコール関連問題リスク上昇の閾値を男性1日40g、女性20gを超える飲酒としています。健康日本21では、生活習慣病のリスクを高める飲酒量を飲酒している方の割合を減少させることを目標に掲げています。

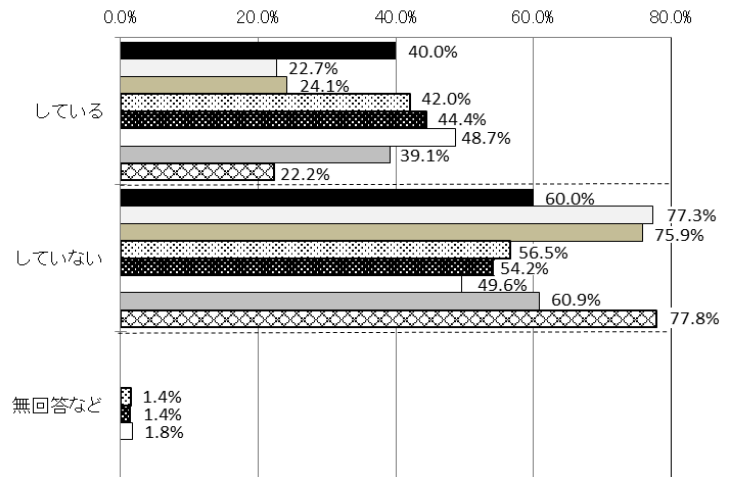
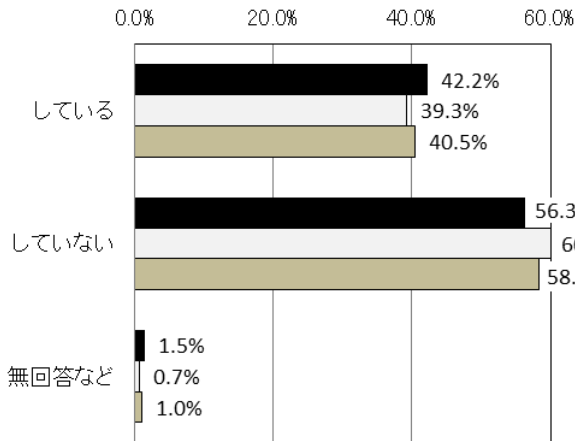
iv)1日の活動量(運動量)について

問18 運動の実施について

「あなたは、ここ1年に1回 30分以上軽く汗をかく程度の運動を週2回以上実施していますか。該当する番号に○印をつけてください。」

■男性 n=206 □女性 n=280 ■全体 n=486

■20歳代 n=25 □30歳代 n=22 ■40歳代 n=58 □50歳代 n=69
 ■60歳代 n=144 □70歳代 n=113 ■80歳代 n=46 □90歳以上 n=9



「運動をしていない」と回答した方は、男女とも半数以上で、男女間に有意な差は見られなかった。(P>0.05)

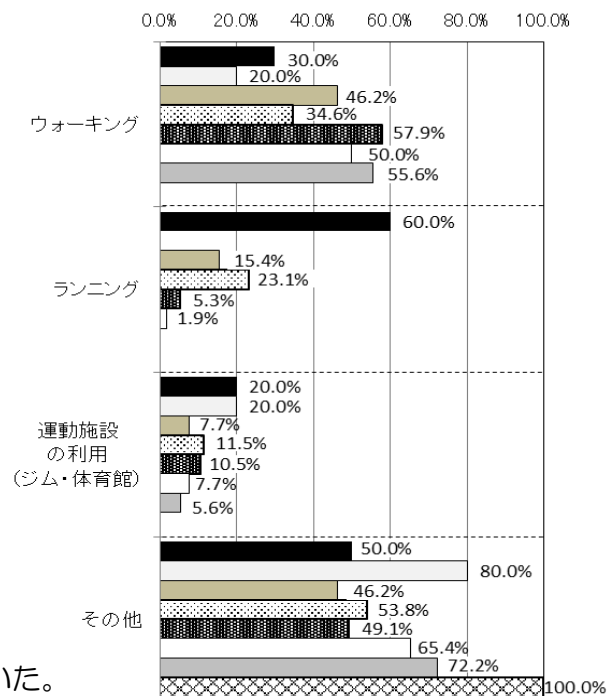
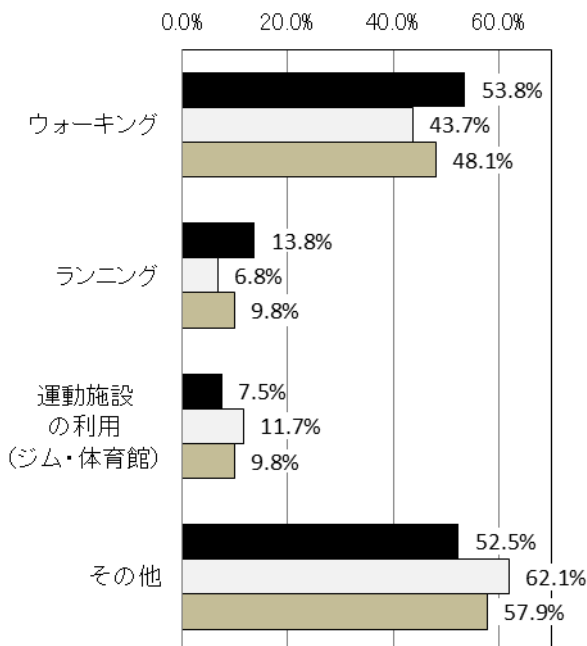
年代別では、30~40歳代で「運動をしていない」と回答する方が多かった。

問19 実施している運動の種類について

「問18で「1」を選んだ方にお尋ねします。どのような運動をしていますか。」

■男性 n=80 □女性 n=103 ■全体 n=183

■20歳代 n=10 □30歳代 n=5 ■40歳代 n=13 □50歳代 n=26
 ■60歳代 n=57 □70歳代 n=52 ■80歳代 n=18 □90歳以上 n=2



全体の48.1%が「ウォーキング」と回答していた。

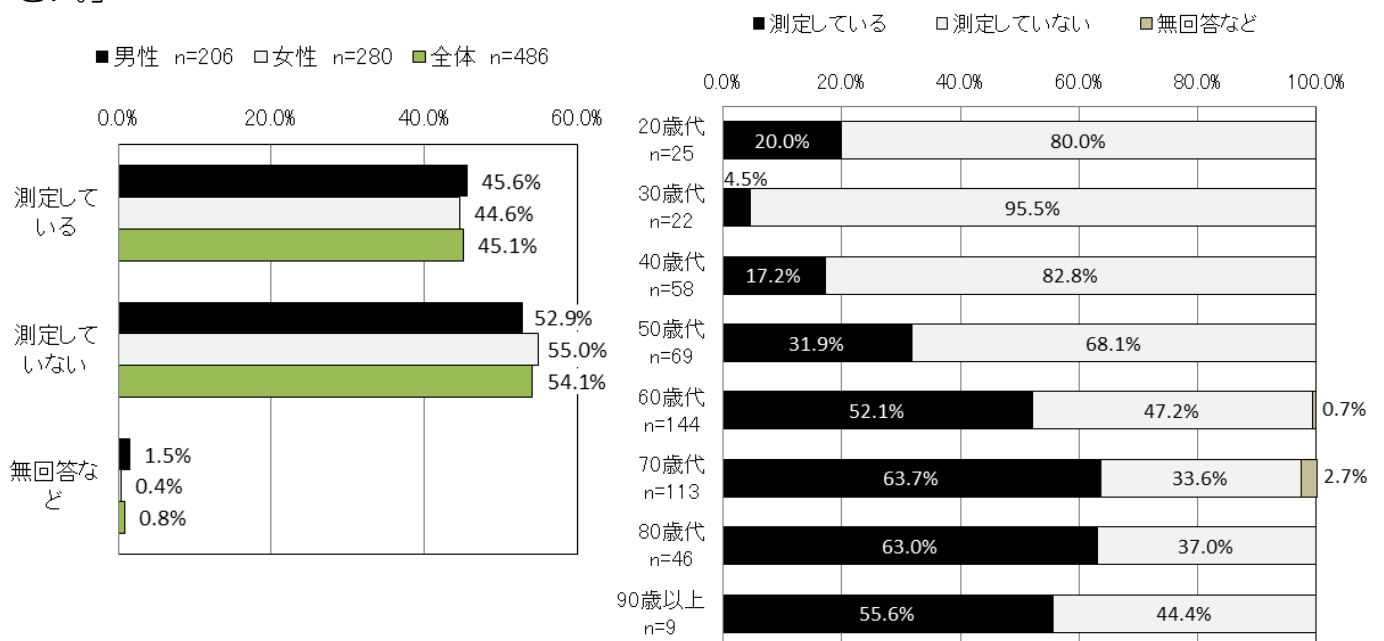
その他の回答

- ・体操（16人）
- ・プール（15人）
- ・筋トレ（14人）
- ・ゴルフ（12人）
- ・畑仕事（12人）
- ・ストレッチ（9人）
- ・仕事（8人）
- ・ダンス（7人）
- ・除雪（7人）
- ・自転車（6人）
- ・リハビリ（6人）
- ・ヨガ（6人）
- ・テニス（5人）
- ・買い物（4人）
- ・卓球（3人）
- ・バドミントン（3人）
- ・太極拳（3人）
- ・掃除（3人）
- ・家庭用運動器具（3人）
- ・ボクシング（2人）
- ・エアロビ（2人）
- ・階段昇降（2人）
- ・サッカー（1人）
- ・スキー（1人）
- ・剣道（1人）
- ・カヌー（1人）
- ・バレー（1人）
- ・登山（1人）
- ・通勤（1人）
- ・外出する（1人）
- ・全身運動（1人）
- ・魚釣りなど（1人）
- ・野球（1人）
- ・去年10月、足を骨折したため、あまり歩くのに自信がない（1人）

v) 血圧・特定健診・がん検診について

問 20 血圧測定について

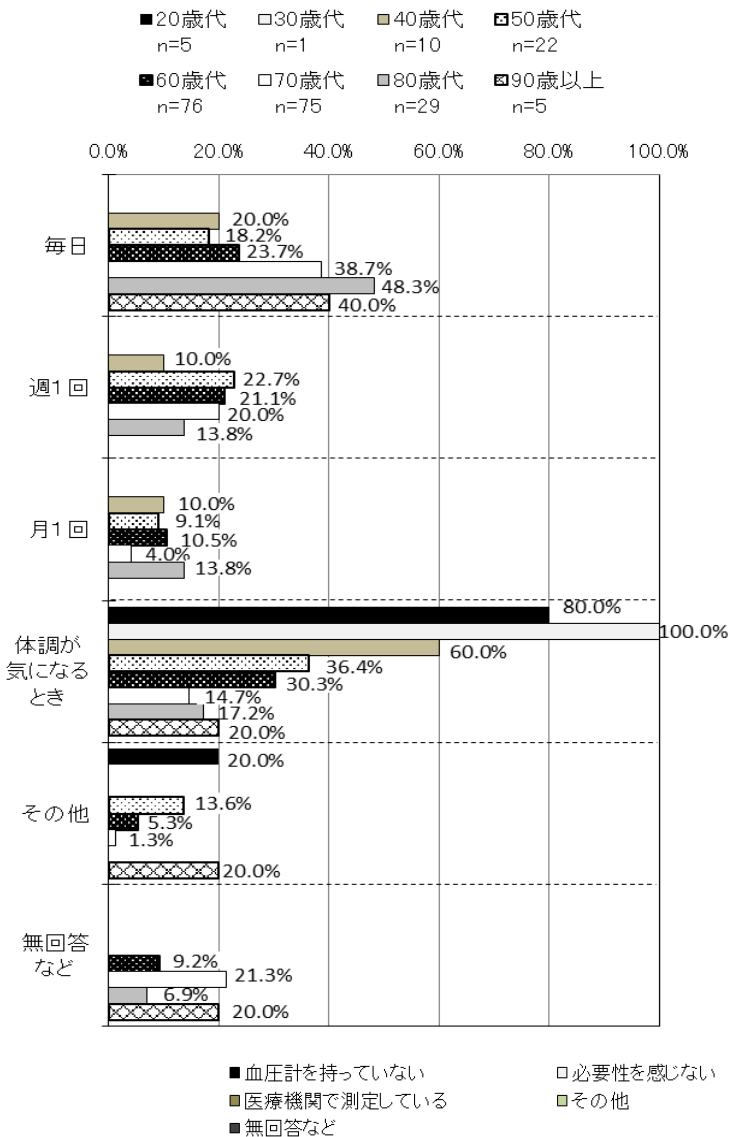
「あなたは、定期的に自宅で血圧を測定していますか。該当する番号に○をつけてください。また、測定している方はその頻度を、測定していない方はその理由を1つ選んで○印をつけてください。」



自宅で血圧を「測定している」方は男性 45.6%、女性 44.6%で男女差はなかった。

($P > 0.05$)

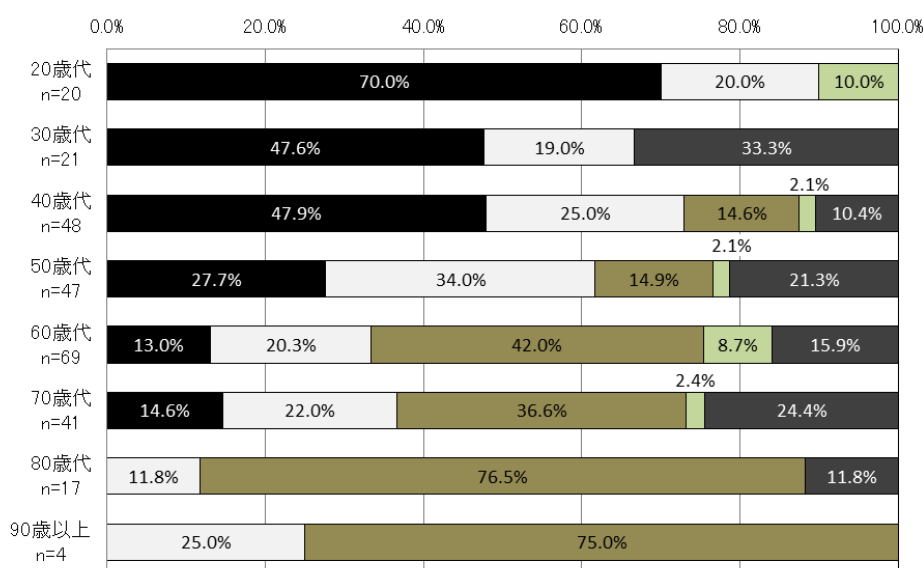
年代別では 30 歳代の血圧を「測定している」割合が 4.5%と低く、40 歳代では 17.2%であった。60 歳以上の年代では血圧を「測定している」方が半数を超えていた。



その他の回答 (自由記載 13 件)

- ・ 3~4回 (3 件)
- ・ 2~3回 (2 件)
- ・ ジムにて (2 件)
- ・ 気が向いたら (2 件)
- ・ 週2回 (1 件)
- ・ 動きだすとき (1 件)
- ・ 週5回 (1 件)
- ・ 今はほぼ毎日 (1 件)

70 歳代以上の年代では約 4 割の方が「毎日」測定していたが、60 歳代以下の年代では「体調が気になるとき」に測定する割合が多かった。



その他の回答

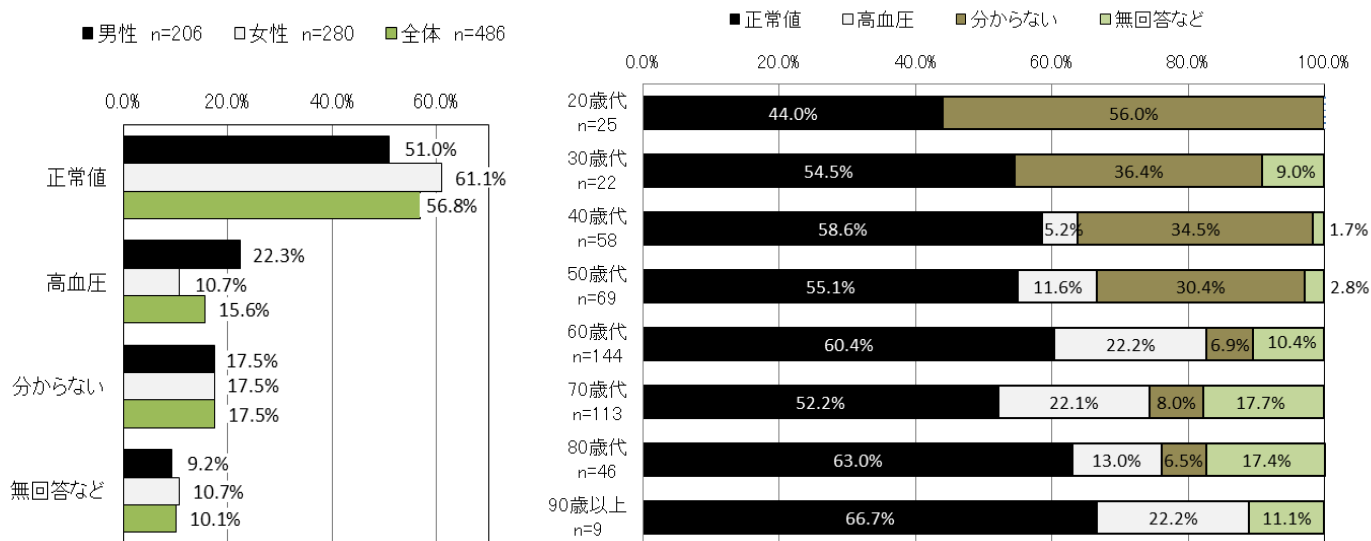
(自由記載 10 件)

- ・ 体調によって計測 (3 件)
- ・ 面倒 (2 件)
- ・ ジムで測定 (1 件)
- ・ 理由はない (1 件)
- ・ 血圧計有り (1 件)
- ・ 一時、毎日測っていましたが、変化がないのでやめた (1 件)
- ・ 月に 1 回くらい内科で測っていただいています。今のところ正常といわれています。(1 件)

40 歳代以下の年代では「血圧計を持っていない」と回答した方が多く、60 歳以上の年代では「医療機関で測定している」と回答した方が多かった。

問21 普段の血圧について

「あなたの普段の血圧はどのくらいですか。」



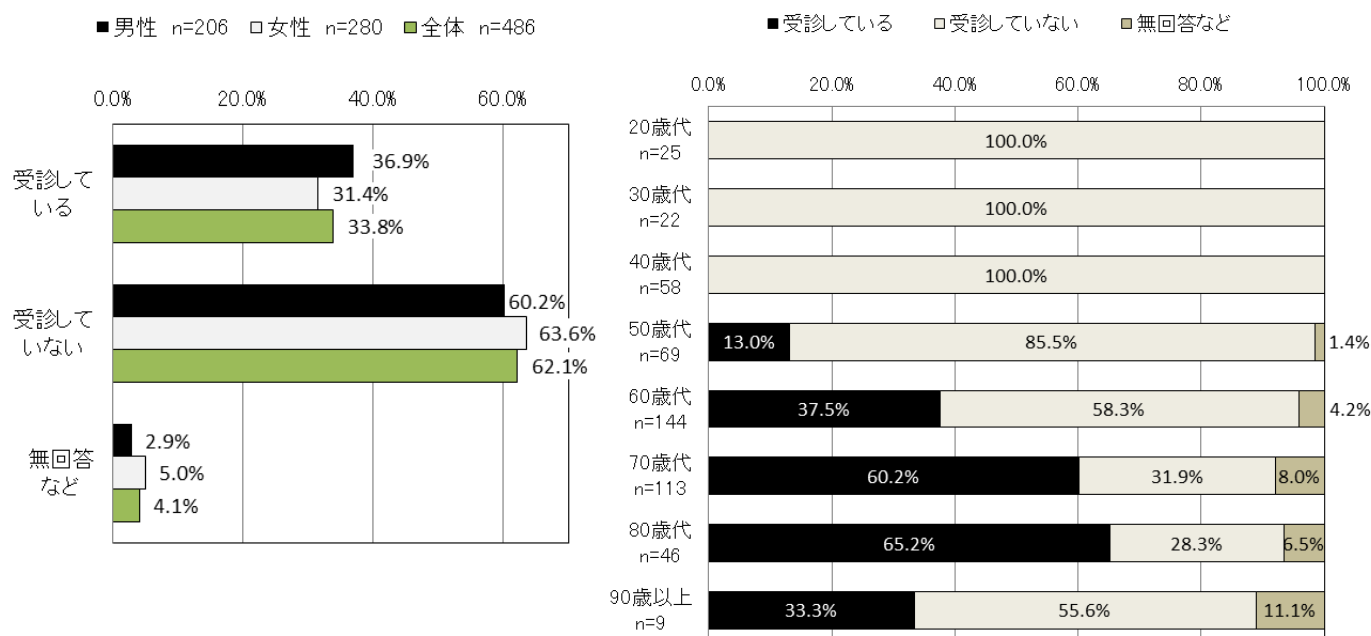
男女ともに「正常値」と回答した方は半数を超えていたが、女性が男性より「正常値」と回答した方が多い傾向があった。(P<0.05)

普段の血圧値を「わからない」と回答する割合は、若年層ほど多かった。

20、30歳代では普段の血圧値を「高血圧」と回答した方はいなかった。40歳代では5.2%の方が「高血圧」と回答した。

問22 医療機関の受診について

「あなたは、高血圧のため、現在医療機関を受診していますか。」



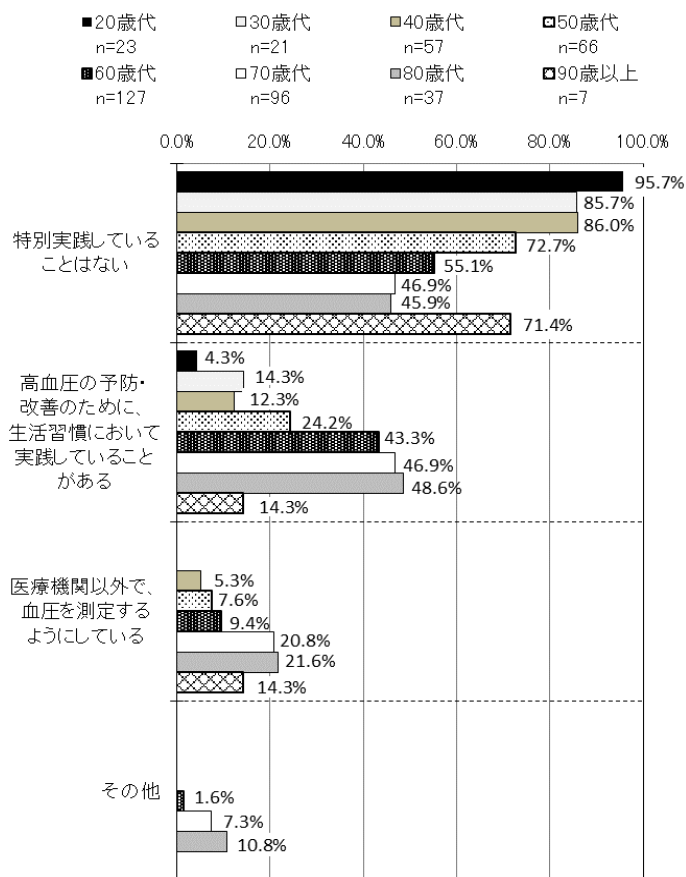
男女共に半数を超える方が「受診していない」と回答し、男女差はなかった。(P>0.05)

20、30、40歳代では高血圧で医療機関を「受診している」方はいなかった。

70、80歳代では受診率が約6割であった。

問23 高血圧の予防・改善について

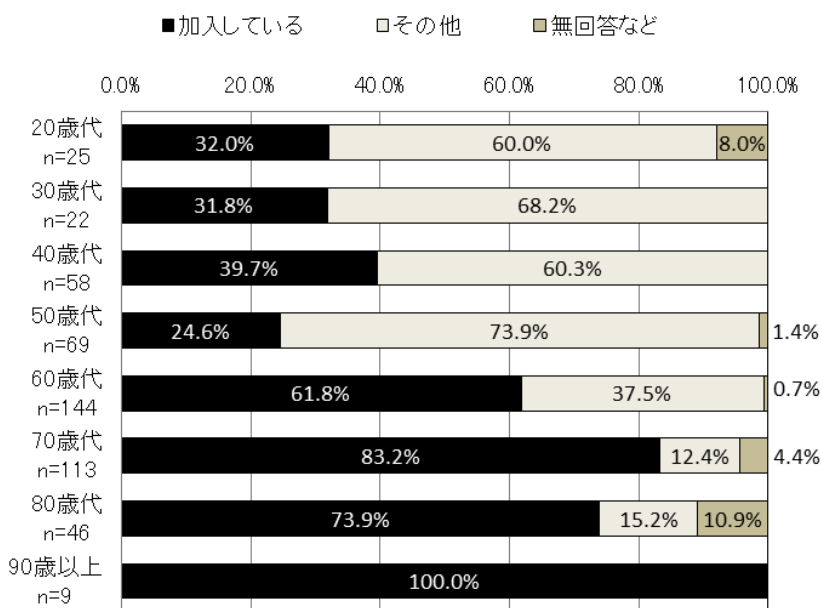
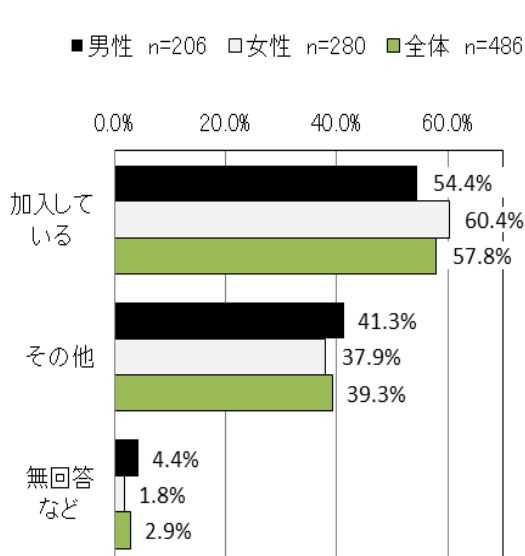
「日頃、高血圧の予防・改善のために実践していることはありますか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



20、30、40、50歳代では7割以上の方が、60歳代では半数の方が「特別実践していることは無い」と回答していた。70、80歳代では「特別実践していることは無い」と「生活習慣において実践していることがある」がそれぞれ約4割と分散していた。

問24 加入保険について

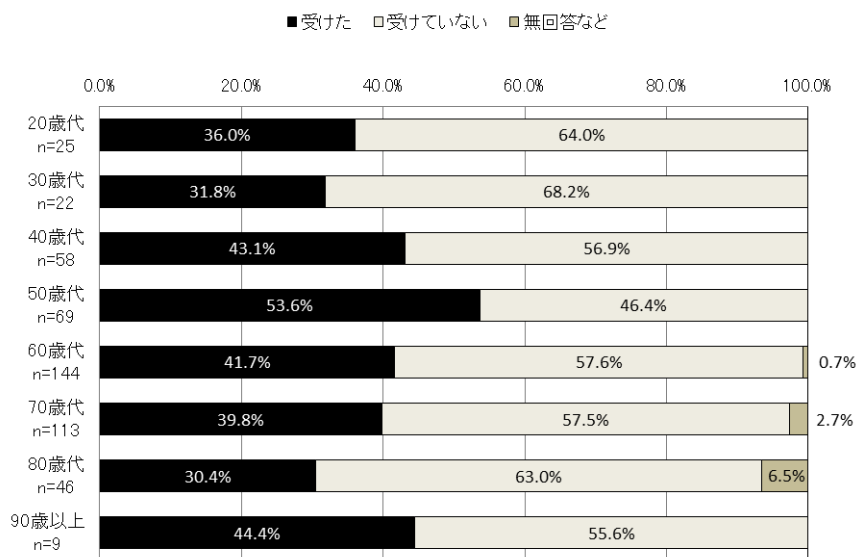
「あなたは、小樽市国民健康保険に加入していますか。」



小樽市国民健康保険に加入している方の、男女差はなかった。(P>0.05)
60歳代以上の年代では半数以上が国民健康保険加入者であった。

問25 特定健診について

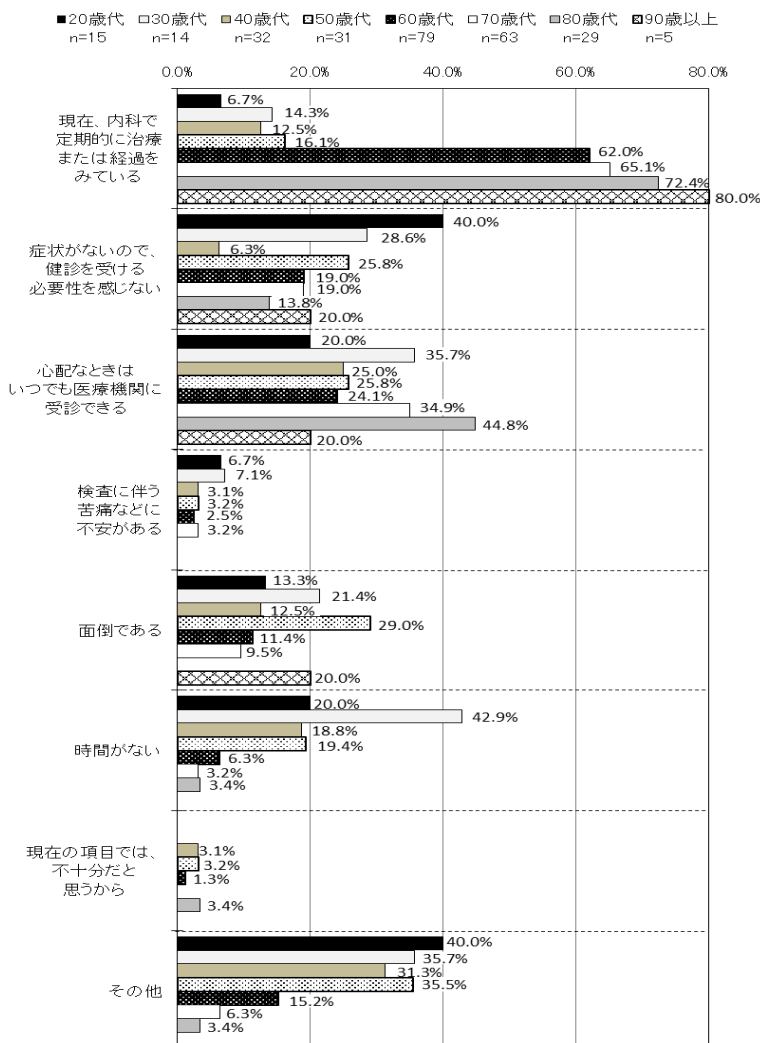
「あなたは、昨年度（平成 27 年度）、特定健康診査を受けましたか。」



50歳代が受診率 53.6%で半数を超えていたが、そのほかの年代では半数以上が「受けていない」と回答していた。

問26 特定健診を受けない理由について

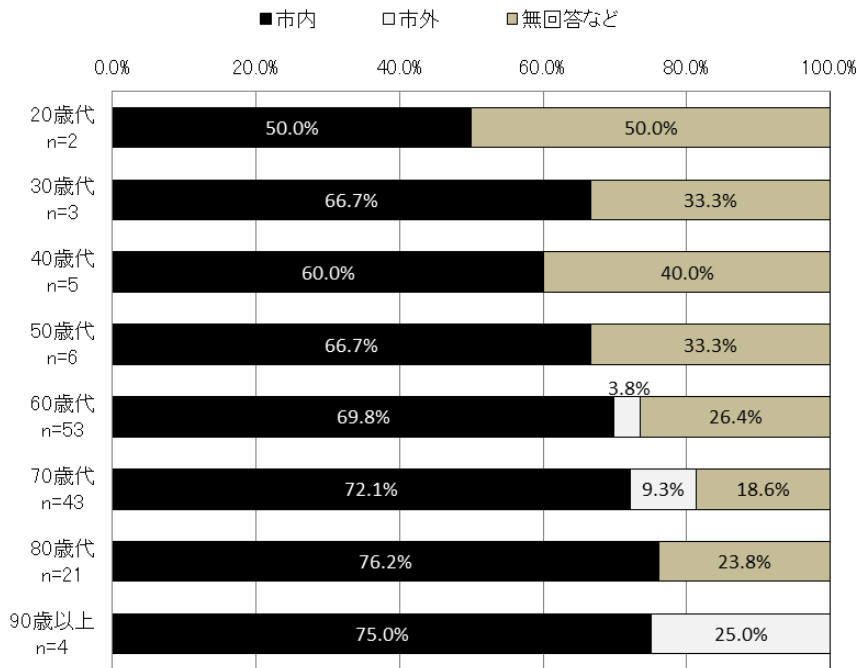
「問25で「2」と回答した方にお尋ねします。特定健康診査を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



その他の回答（自由記載 44 件）

- ・会社の健診で受けた（19件）
- ・知らない（6件）
- ・かかりつけの病院で受けた（5件）
- ・行きそびれた（4件）
- ・対象外（年齢・妊娠など）（4件）
- ・金銭面（2件）
- ・やりたくない（1件）
- ・自身の健康状態に自身があるため（1件）
- ・総合病院で年の〇〇と言われ、医師不信となった（1件）
- ・1か所で全ての検査が受けられないので不便である（1件）

内科で定期的に経過を見ている方のかかっている医療機関



60、70、80 歳代、90 歳以上では「内科で定期的に経過を見ている」と回答した方が半数以上であった。

20 歳代では「症状がないので、健診を受ける必要性を感じない」と「その他」と回答した方が多く、30 歳代では「時間がない」と回答した方が多かった。

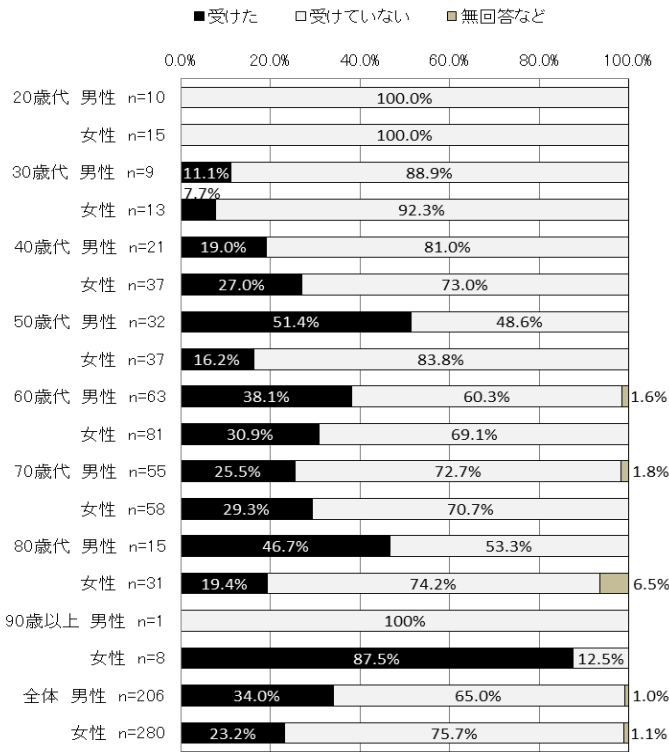
40、50 歳代では「その他」の回答が多かった。

その他の回答としては「会社の健診で受けた」（19 件）が最も多かった。

内科で定期的に経過を見ている方のかかっている医療機関では、半数以上が市内の医療機関であった。

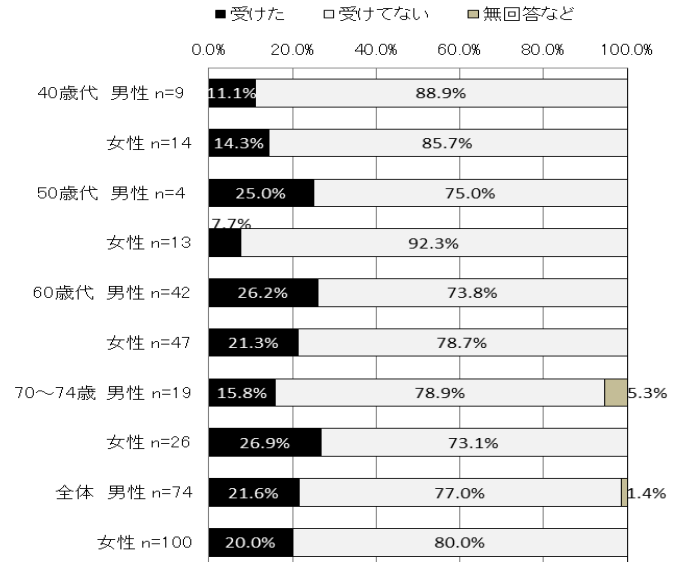
問27 胃がん検診について

「あなたは昨年度（平成 27 年度）、胃がん検診（胃バリウム検査）を受けましたか。」



胃がん検診を受けた方は男性に多い傾向があった。(P<0.05)
50歳代男性では半数以上が受診していた。

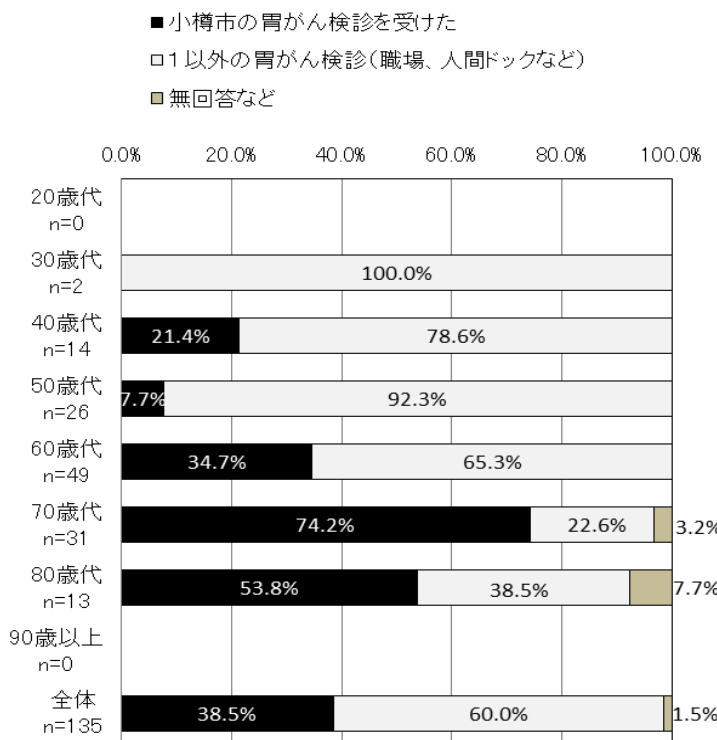
「問27の回答のうち、40歳～74歳の国民健康保険加入者の回答。」



50歳女性の胃がん検診受診率は7.7%であった。胃がん検診受診率は男性21.6%、女性20.0%で男女での有意差はなかった。(P>0.05)

問28 胃がん検診をどこで受けたかについて

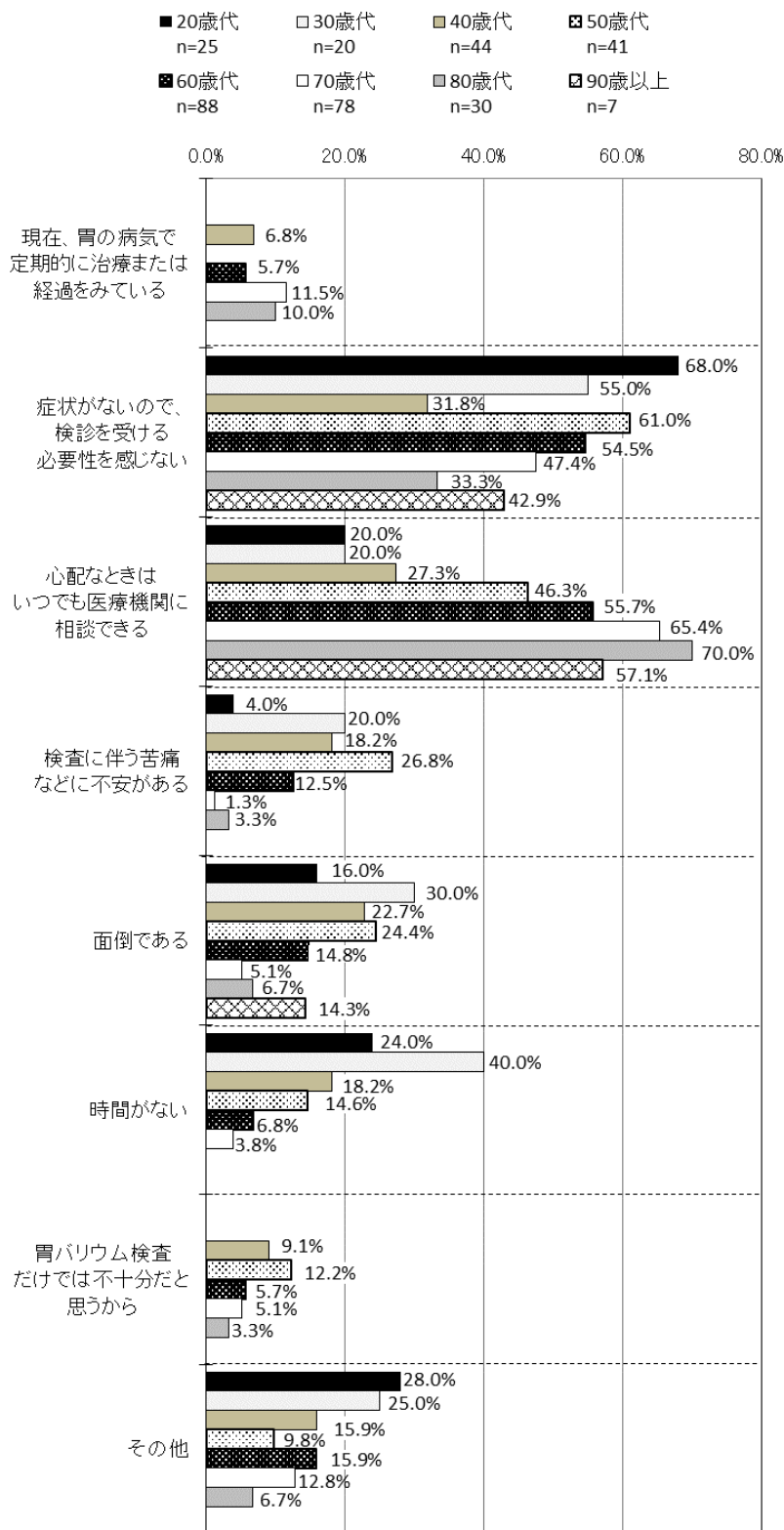
「問27で「1」と回答した方にお尋ねします。どちらで受けましたか。」



40、50、60歳代では半数以上の方が「小樽市以外の胃がん検診（職場、人間ドックなど）」で受けていた。
(20～30歳代は小樽市の胃がん検診対象外。)

問29 胃がん検診を受けない理由について

「問27で「2」と回答した方にお尋ねします。胃がん検診を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



その他の回答（自由記載 47 件）

- ・胃カメラで受けた（12 件）
- ・対象外（10 件）
- ・かかりつけの病院で受けた（4 件）
- ・金銭面（4 件）
- ・行きそびれた（2 件）
- ・やりたくない（2 件）
- ・会社の健診で受けた（1 件）
- ・知らない（1 件）
- ・医師不信（1 件）
- ・バリウムがのめない（1 件）
- ・手をケガしていたため（1 件）
- ・あまり考えていない（1 件）
- ・胃がんの手術を受けている（1 件）
- ・受ける機会がない（1 件）
- ・2～3年に1度と決めているから（1 件）
- ・それ以上に病有り、これに力をいれている。心臓病のため。（1 件）
- ・障害があり検査で自分の体をささえきれないのでうけません（1 件）
- ・意識する年齢、体の状態ではないと感じているため。（1 件）
- ・申込日に他の病院でバリウムを飲むのが困難だったため（1 件）

20、30 歳代では半数以上の方が「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と回答していた。

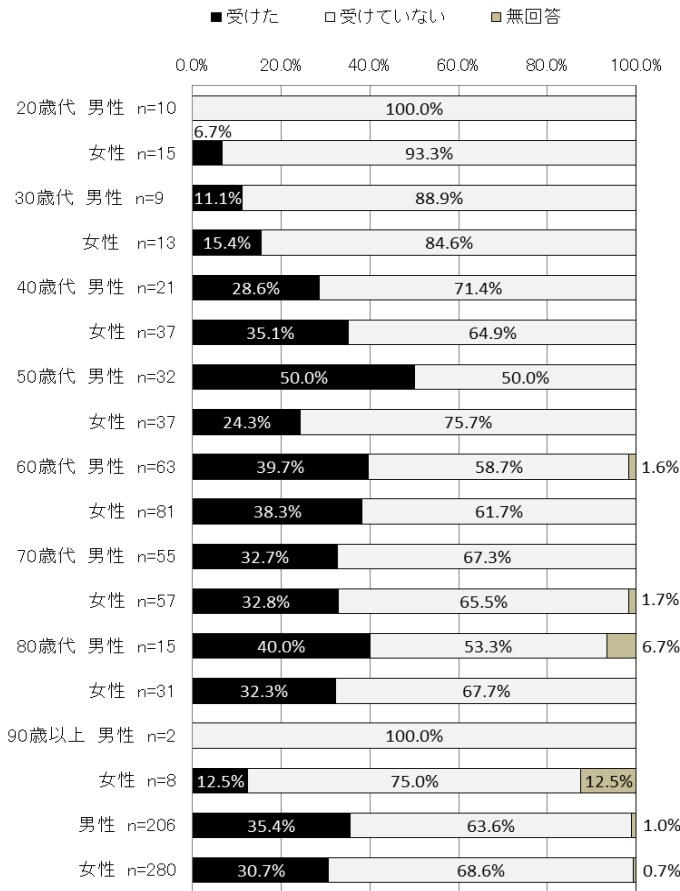
80 歳代、90 歳代では半数以上の方が「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」と回答していた。

上記の回答をそれぞれ、40 歳代では約3割の方が、50、60、70 歳代では約半数以上の方が回答していた。

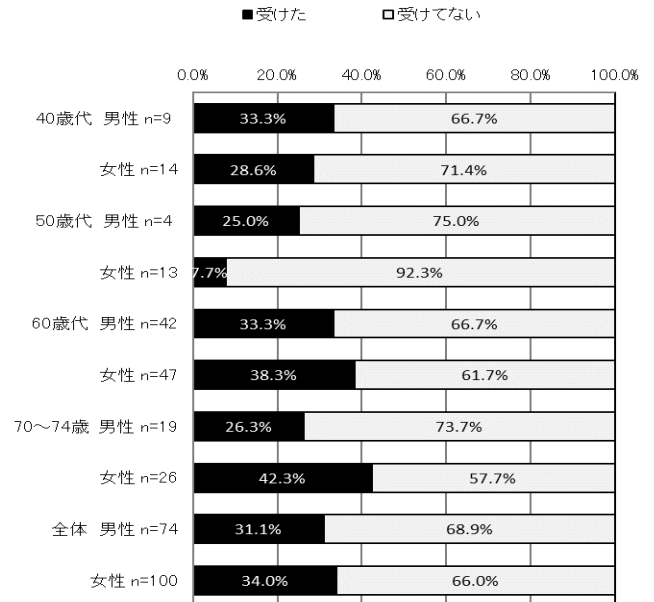
30 歳代の4割が「時間がない」と回答していた。

問30 大腸がん検診について

「あなたは昨年度（平成27年度）、大腸がん検診（便潜血検査）を受けましたか。」



「問30の回答のうち、40歳～74歳の国民健康保険加入者の回答。」



大腸がん検診を受けた方の男女差はなかった。
($P>0.05$)

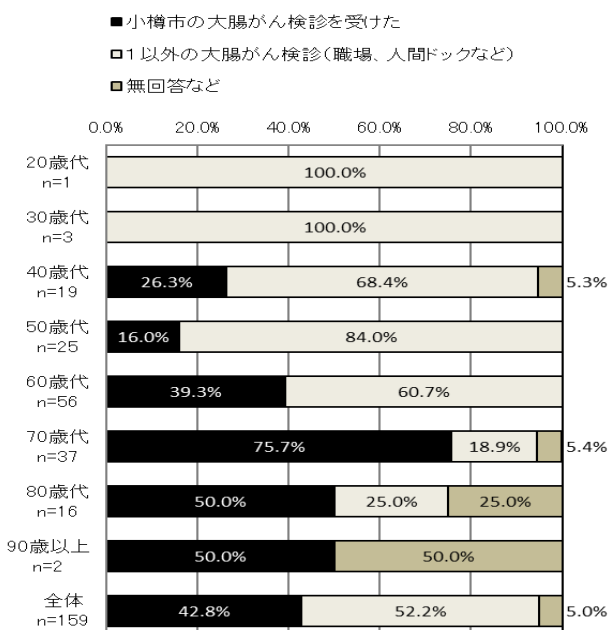
50歳代男性では半数以上が受診していた。

男性の大腸がん検診受診率は31.1%、
女性は34.0%であった。

70～74歳の女性の受診率が42.3%であったが、
50歳代の女性では7.7%であった。

問31 大腸がん検診をどこで受けたかについて

「問30で「1」と回答した方にお尋ねします。どちらで受けましたか。」



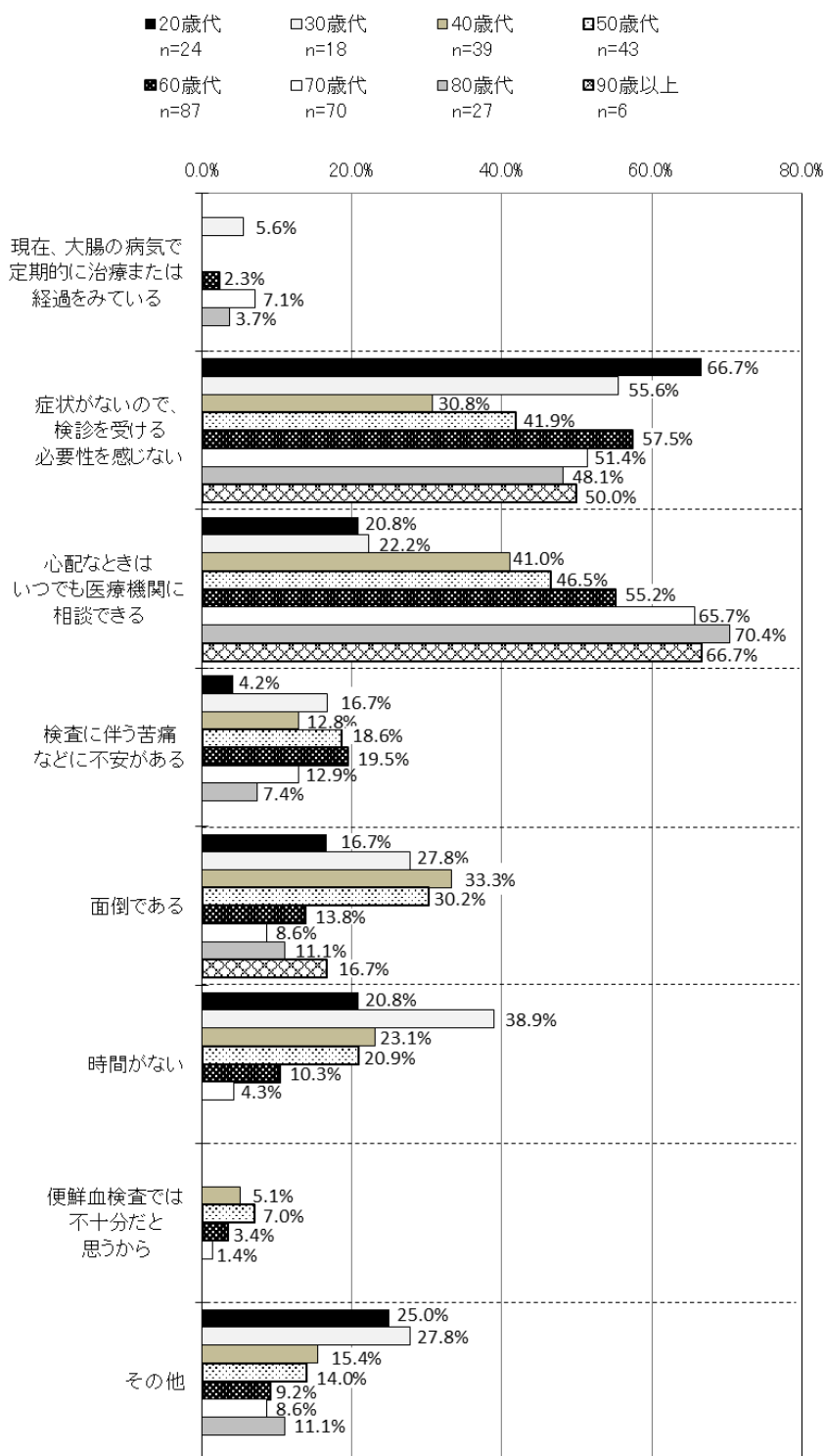
40、50、60歳代では半数以上の方が「小樽市以外の大腸がん検診（職場、人間ドックなど）」で受診していた。

70、80歳代では「小樽市の大腸がん検診」を受けた方が多かったが、約2割の方が「小樽市以外の大腸がん検診（職場、人間ドックなど）」を受診していた。

(20～30歳代は小樽市の大腸がん検診対象外。)

問32 大腸がん検診を受けない理由について

「問30で「2」と回答した方にお尋ねします。大腸がん検診を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



その他の回答（自由記載 37件）

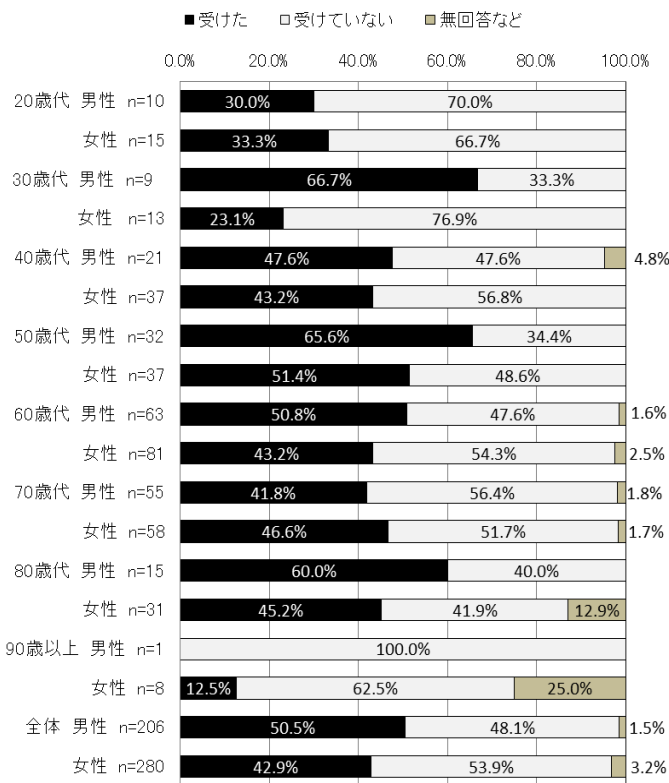
- ・対象外（年齢・妊娠など）（8件）
- ・金銭面（6件）
- ・行きそびれた（4件）
- ・内視鏡で受けた（3件）
- ・知らなかった（2件）
- ・受ける機会がなかった（2件）
- ・受診指示等がないため（2件）
- ・考えたことがなかった（1件）
- ・医師不信（1件）
- ・体力的に、無理（1件）
- ・一度受診したが全然問題がなかったため（1件）
- ・健康診断で便潜血がーだったから（1件）
- ・痔もあるし高齢なので検体を作る動作が難しい（1件）
- ・平成 26 年検査を受けている（1件）
- ・かかりつけの病院で受けた（1件）
- ・検査方法が納得できない。理解できない。もっと進化した方法の方がいいと思うので、受けたくない。（1件）
- ・やりたくない（1件）

20、30 歳代では約半数の方が「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と回答した。40、50 歳代では「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」と回答していた方が多かった。

60、70、80 歳代、90 歳以上では、上記2つの回答にそれぞれ約5割以上の方が回答していた。30歳代の約4割が「時間がない」と回答していた。

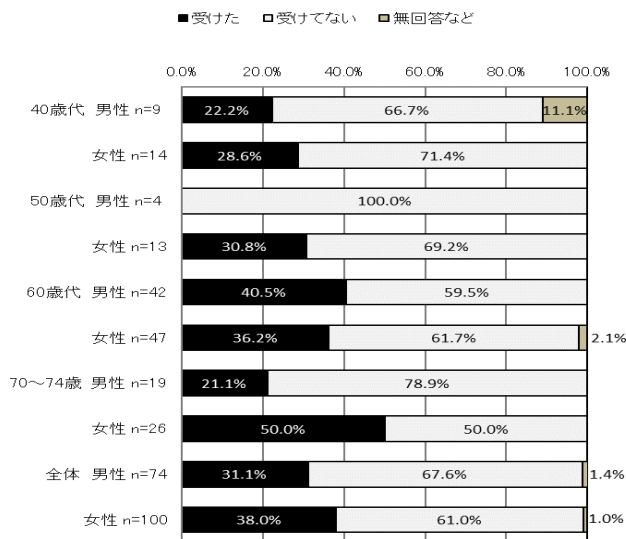
問33 肺がん検診について

「あなたは昨年度（平成27年度）、肺がん検診（胸部レントゲン検査）を受けましたか。」



男性の受診率は50.5%、女性は42.9%であり、肺がん検診を受けた方の男女差はなかった。(P>0.05)

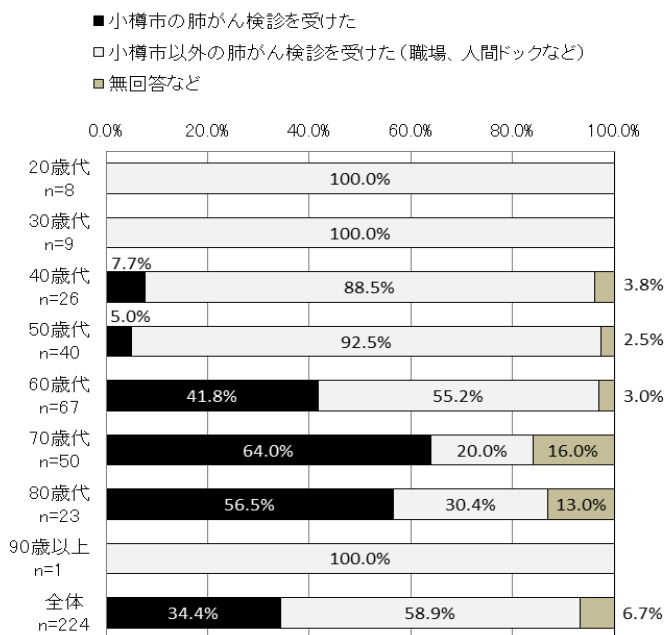
「問33の回答のうち、40歳～74歳の国民健康保険加入者の回答。」



肺がん検診受診率は男性31.1%、女性38.0%であった。国民健康保険加入者の肺がん検診を受けた方の男女差はなかった。(P>0.05)
70から74歳の女性では受診率は50.0%であった。

問34 肺がん検診をどこで受けたかについて

「問33で「1」と回答した方にお尋ねします。どちらで受けましたか。」

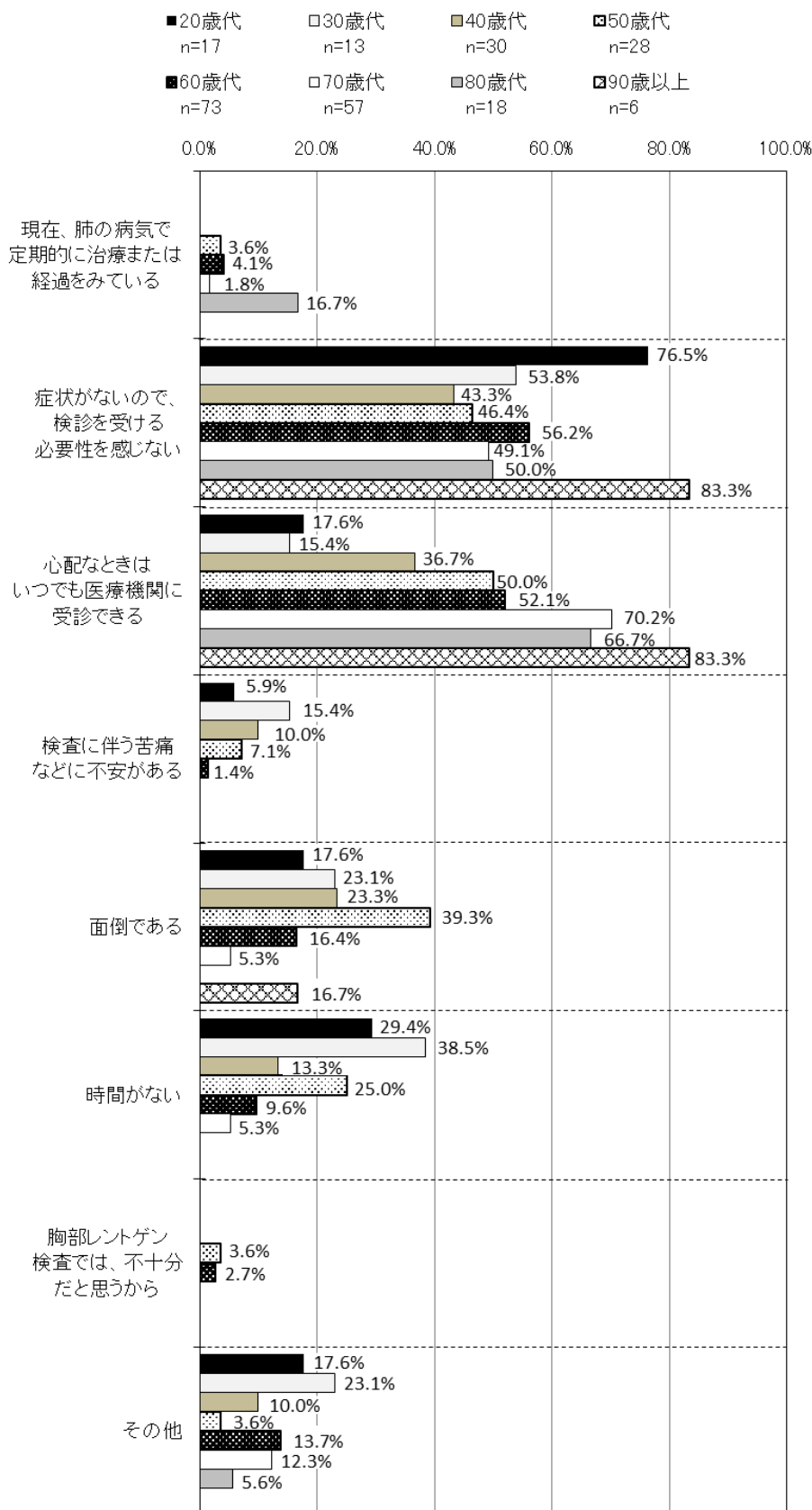


40、50歳代では約9割、60歳代では半数の方が「小樽市以外の肺がん検診（職場、人間ドックなど）」で受けていた。

70、80歳代の方は半数以上が「小樽市の肺がん検診」を受けていたが、2～3割の方が「小樽市以外の肺がん検診（職場、人間ドックなど）」を受けていた。
(20～30歳代小樽市の肺がん検診対象外。)

問35 肺がん検診を受けない理由について

「問33で「2」と回答した方にお尋ねします。肺がん検診を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



その他の回答

(自由記載 26件)

- ・対象外(年齢・妊娠など)(6件)
- ・かかりつけの病院で受けた(5件)
- ・金銭面(5件)
- ・行きそびれた(4件)
- ・会社の健診で受けた(1件)
- ・考えていない(1件)
- ・不信(1件)
- ・胃がん同様、毎年でなくてもいいのかなと思っています。(1件)
- ・それ以上の病有り、これに力を入れている。心臓病のため。(1件)
- ・申込日に他の病院でバリウムを飲むのが困難だったため(1件)

20、30、40歳代では「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と回答した方が多かった。

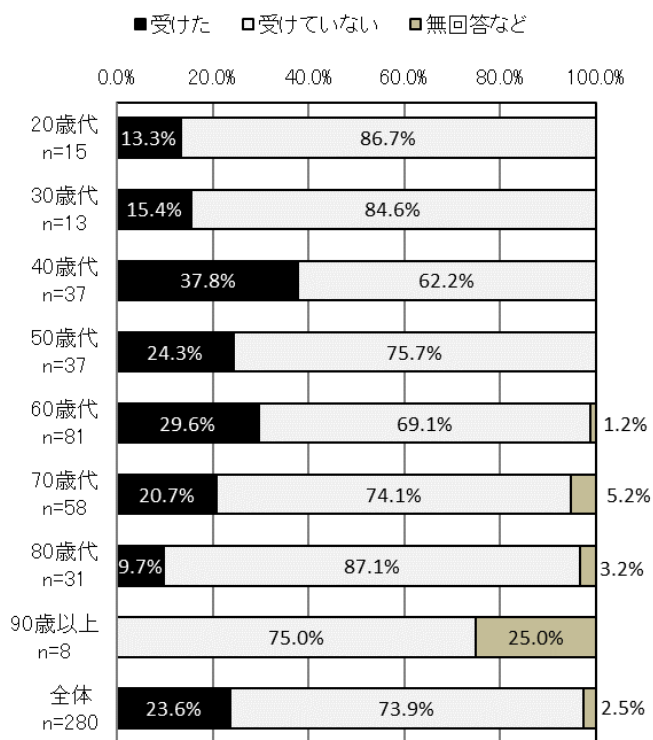
50、70、80歳代では「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」と回答していた方が多かった。

60歳代では約半数が、90歳以上では約8割の方が上記2つの回答をしていた。

30歳代の約4割が「時間がない」、50歳代の約4割が「面倒である」と回答していた。

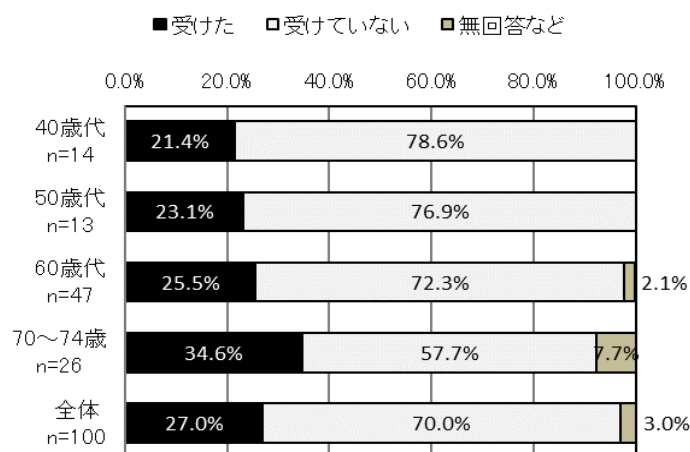
問36 乳がん検診について

「あなたは過去2年間に（平成26年4月1日～平成28年3月31日）、乳がん検診（マンモグラフィ検査）を受けましたか。」



40歳代の方の受診率は37.8%、50歳代では24.3%であった。

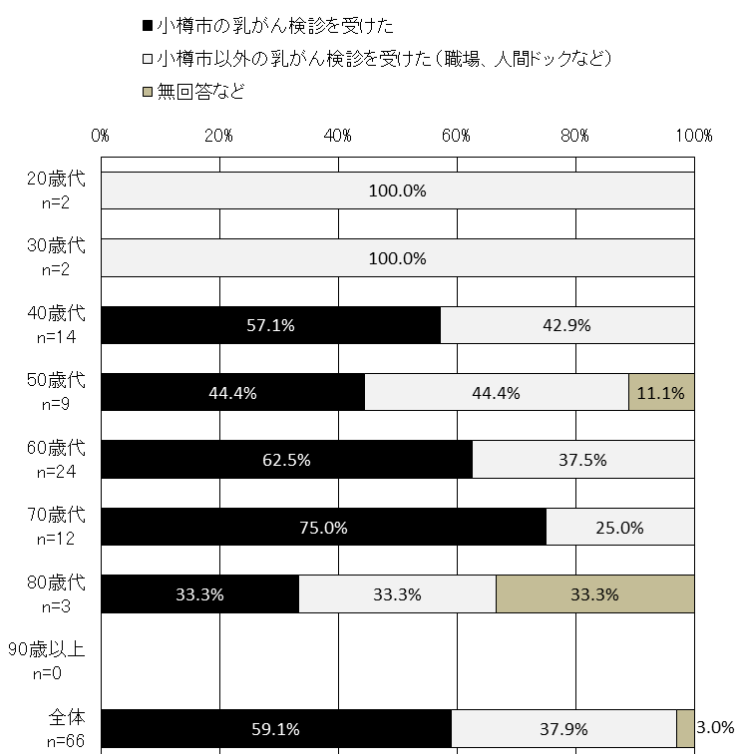
「問36の回答のうち、40歳～74歳の国民健康保険加入者の回答。」



40歳代では21.4%、50歳代では23.1%の受診率であり、全体の受診率は27.0%であった。

問37 乳がん検診をどこで受けたかについて

「問36で「1」と回答した方にお尋ねします。どちらで受けましたか。」



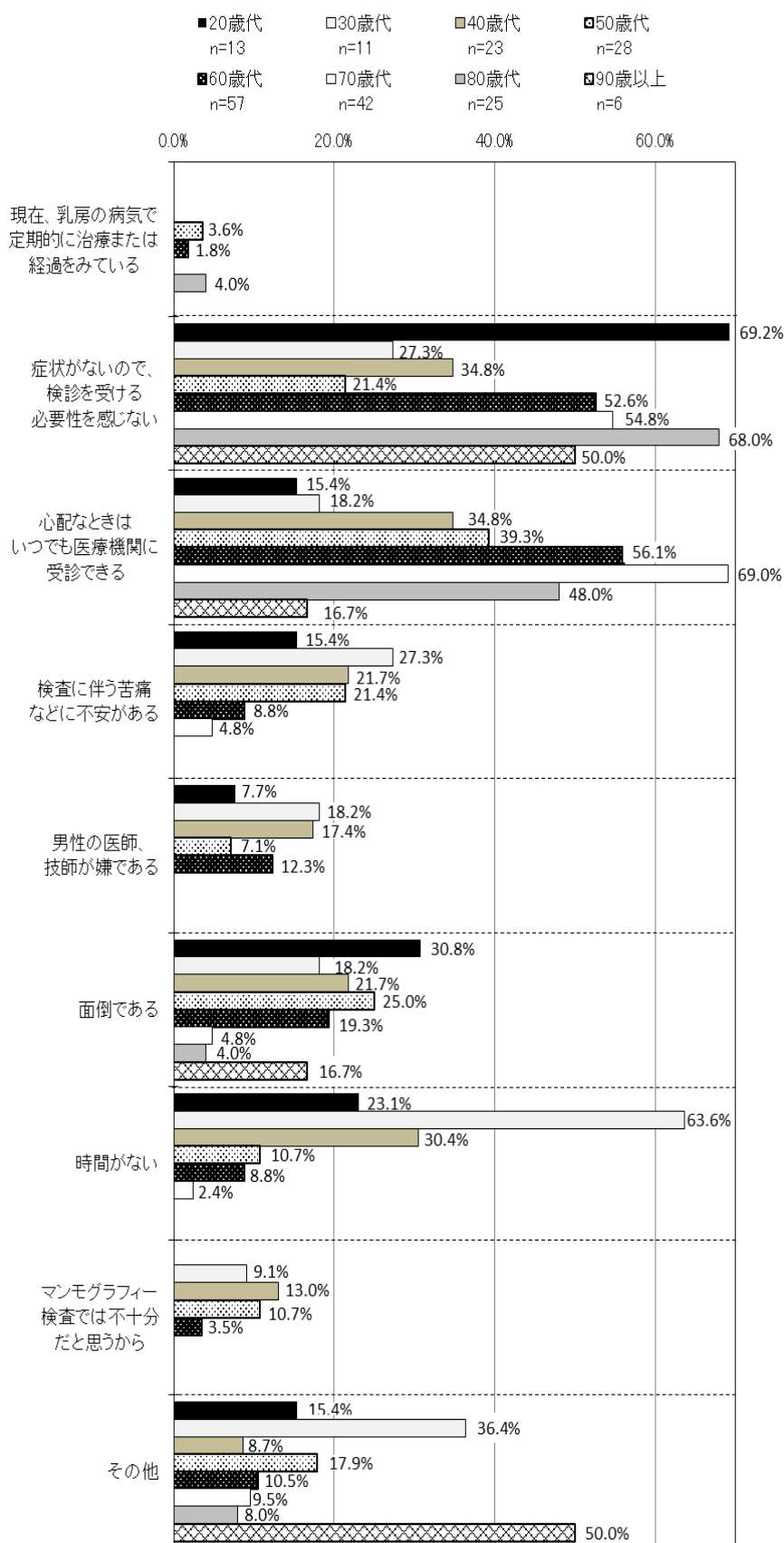
40、50、60歳代では約4割の方が「小樽市以外の乳がん検診を受けた（職場、人間ドックなど）」を受けていた。

70歳代では約7割の方が「小樽市の乳がん検診」を受けていた。

（20～30歳代は小樽市の乳がん検診対象外。）

問38 乳がん検診を受けない理由について

「問36で「2」と回答した方にお尋ねします。乳がん検診を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



その他の回答

(自由記載 27 件)

- ・乳房疾患あり (4件)
- ・以前受けたことがあるから (4件)
- ・行きそびれた (4件)
- ・高齢のため (4件)
- ・対象外 (2件)
- ・金銭面 (3件)
- ・受診指示がない為 (1件)
- ・乳腺科と言う病院が市内にない (1件)
- ・健康診査でレントゲンを受けている (1件)
- ・入浴時に自分で鏡を見て触診をしている (1件)

20、80 歳代では約7割、90 歳以上の半数の方が「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と回答した。

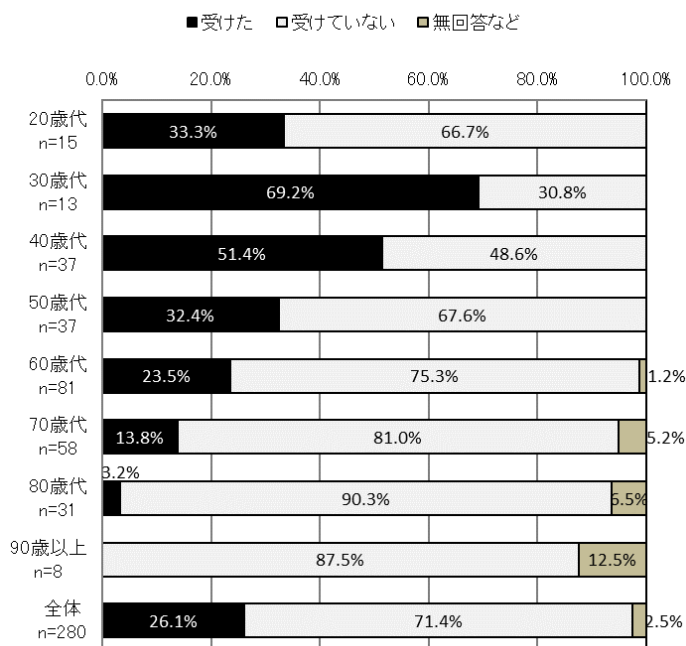
50 歳代では「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」と回答した方が多かった。

40 歳代では 34.8%、60、70 歳代では半数以上が上記2つの回答があった。30 歳代の約6割の方が「時間がない」と回答した。

その他の回答として「以前受けたことがあるから」(4件)、「健康診査でレントゲンを受けている」(1件)の回答があった。

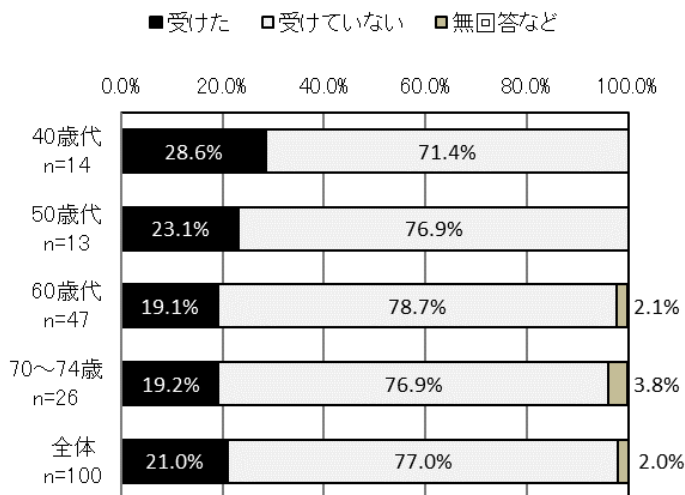
問39 子宮頸がん検診について

「あなたは過去2年間に（平成26年4月1日～平成28年3月31日）、子宮頸がん検診（細胞診）を受けましたか。」



30歳代では約7割、40歳代では約半数が受診していたが、年代が高くなるに従い受診率は低下していた。20歳代の受診率は33.3%であった。

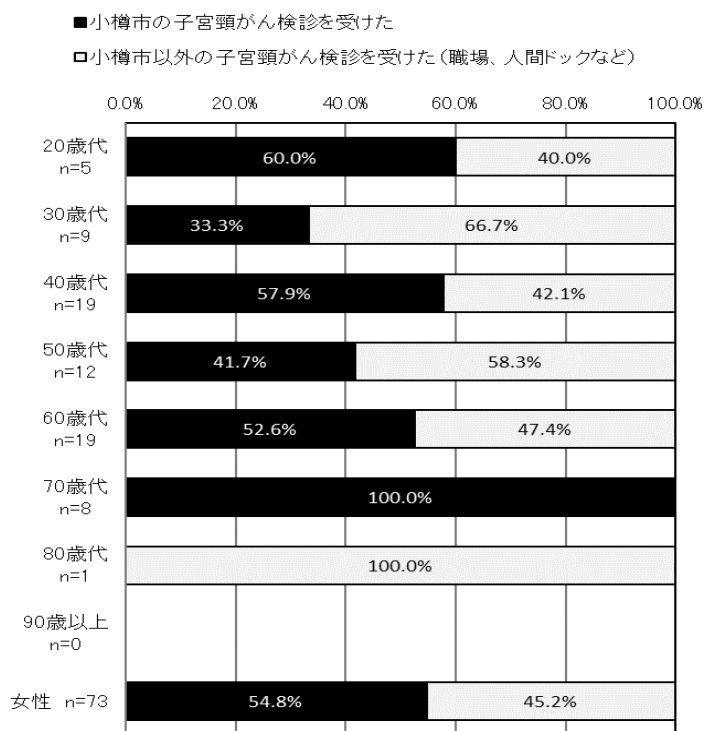
「問39の回答のうち、40歳～74歳の国民健康保険加入者の回答。」



40歳代の受診率は28.6%であった。全体の受診率は21.0%であった。

問40 子宮頸がん検診をどこで受けたかについて

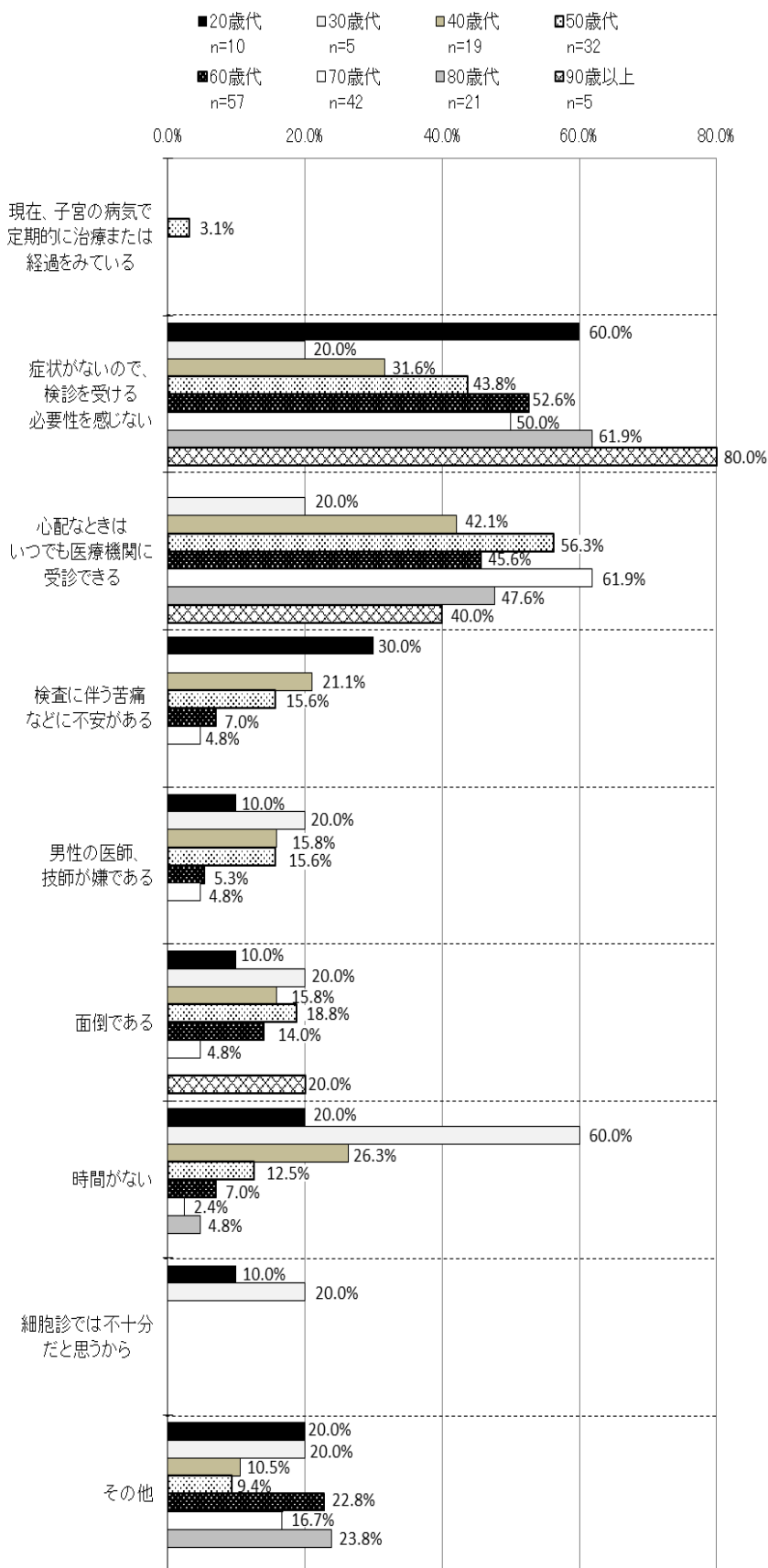
「問39で「1」と回答した方にお尋ねします。どちらで受けましたか」



約半数が「小樽市の子宮頸がん検診」を受けていたが、30歳代では66.7%の方が「小樽市以外の子宮頸がん検診（職場、人間ドック）」を受けていた。

問41 子宮頸がん検診を受けない理由について

「問39で「2」と回答した方にお尋ねします。子宮頸がん検診を受けなかった理由は何ですか。該当する番号を全て選んで○印をつけてください。」



その他の回答

(自由記載 27件)

- ・子宮疾患あり (16件)
- ・高齢のため (3件)
- ・以前受けたことがあるから (2件)
- ・行きそびれた (1件)
- ・金銭面 (1件)
- ・がん家系ではないので大丈夫と思っている (1件)
- ・仕事で病院と時間帯が合わない (1件)
- ・月に1度は内科に通っているため (1件)
- ・過去に子宮筋腫のOPEをした際に子宮がきれいになったと思ったから (1件)

20、60、80歳代、90歳以上の方は半数以上が「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と回答していた。

40、50歳代は「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」と回答していた方が多かった。

70歳代では「症状がないので、検診を受ける必要性を感じない」と「心配なときはいつでも医療機関に受診できる」に、それぞれ半数以上が回答していた。

30歳代では「時間が無い」と回答した方が多かった。

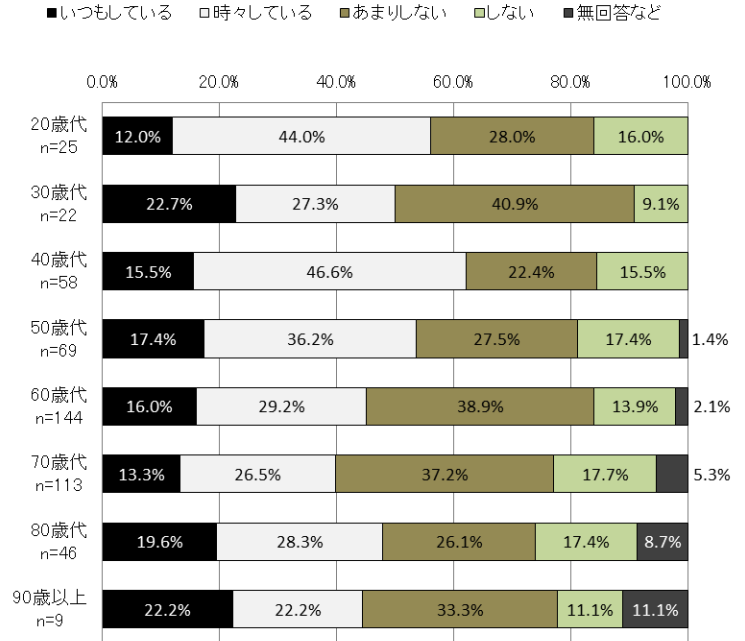
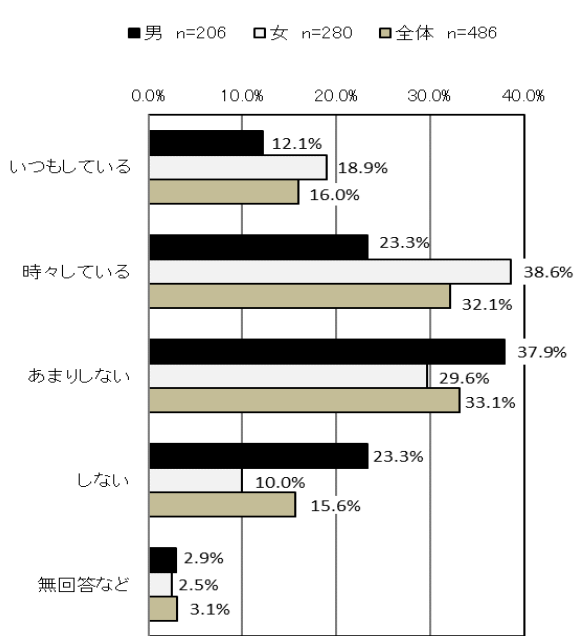
20歳代の3割の方が「検査に伴う不安がある」と回答していた。

その他の回答では「以前受けたことがあるから」(2件)や「がん家系ではないので大丈夫と思っている」(1件)があった。

vi)生きがい、相談相手の有無、睡眠の実態について

問42 ストレスや悩みの相談について

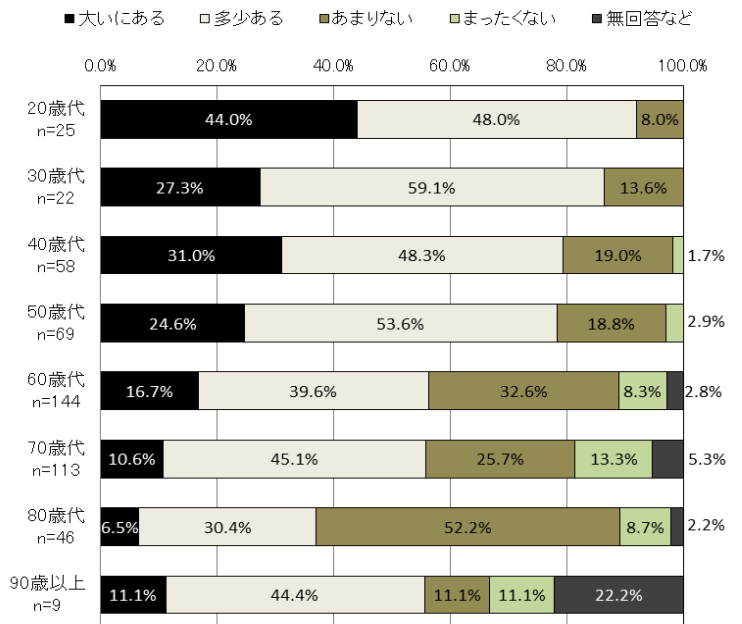
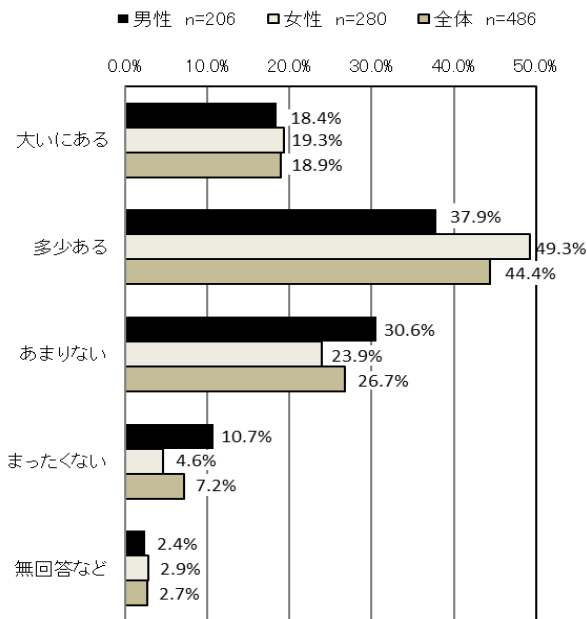
「あなたは、ストレスや悩みを周りの人に気軽に相談していますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



「いつもしている」、「時々している」と回答している人の割合が、男性より女性のほうが高く、女性のほうがストレスや悩みを周りの人に相談している方が多い。(P<0.01)

問43 不満、悩み、苦勞、ストレスについて

「あなたは、この1か月に不満、悩み、苦勞、ストレスなどがありましたか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

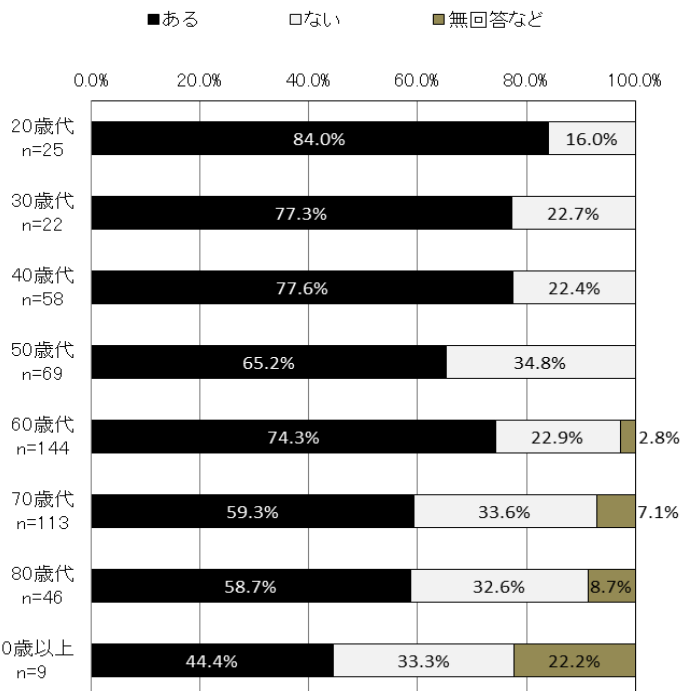
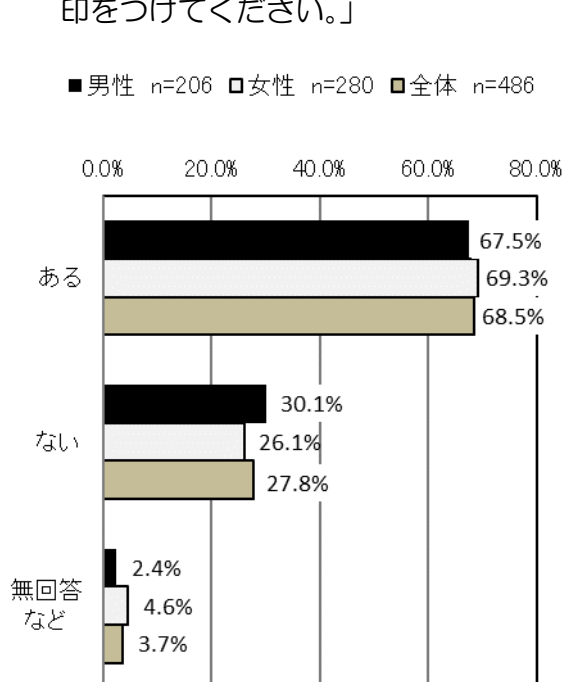


「大いにある」、「多少ある」と回答した人の割合が、男性より女性のほうが高い傾向にあった。(P<0.05)

女性のほうが何らかのストレスを抱えている方が多い傾向にある。

問44 ストレスの対処について

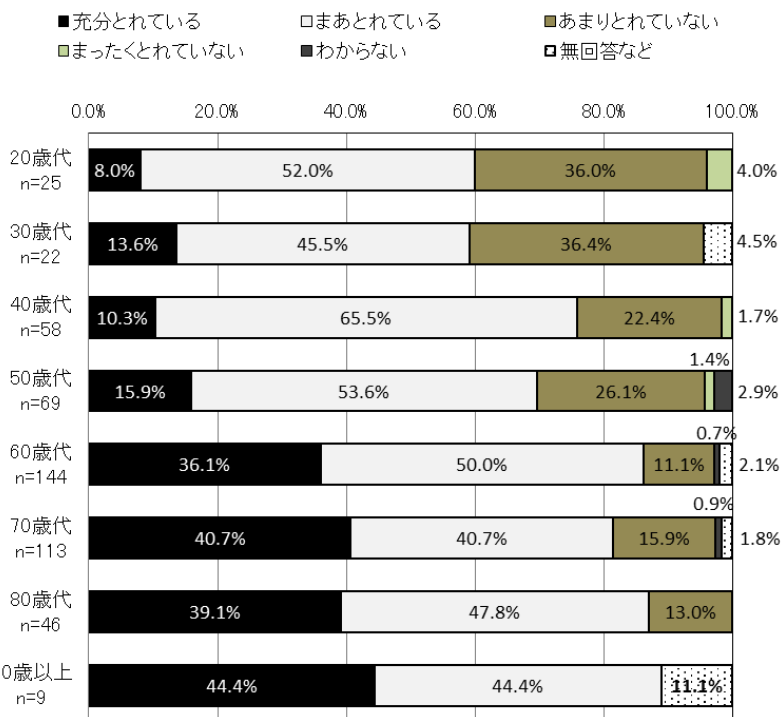
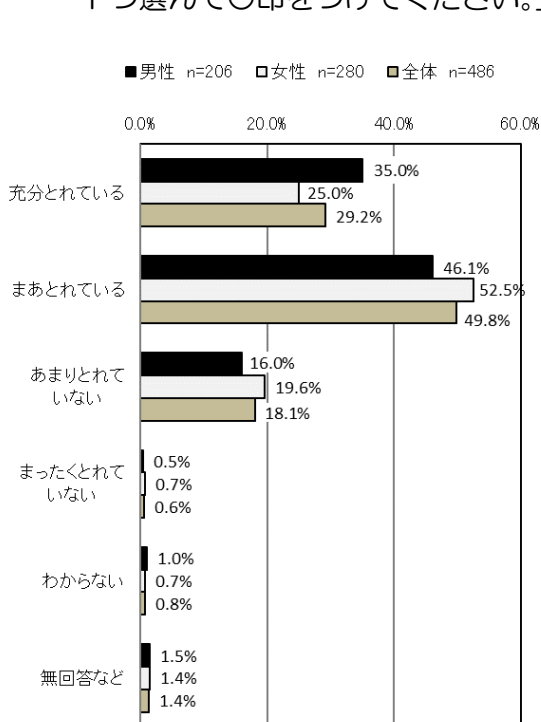
「あなたは、ストレスをためないように自分なりの対処方法がありますか。該当する番号に○印をつけてください。」



男女ともに「対処法がある」と回答した方は、6割以上であった。20歳代から60歳代は「対処法がある」と回答した方は、6割以上であった。

問45 睡眠の状況について

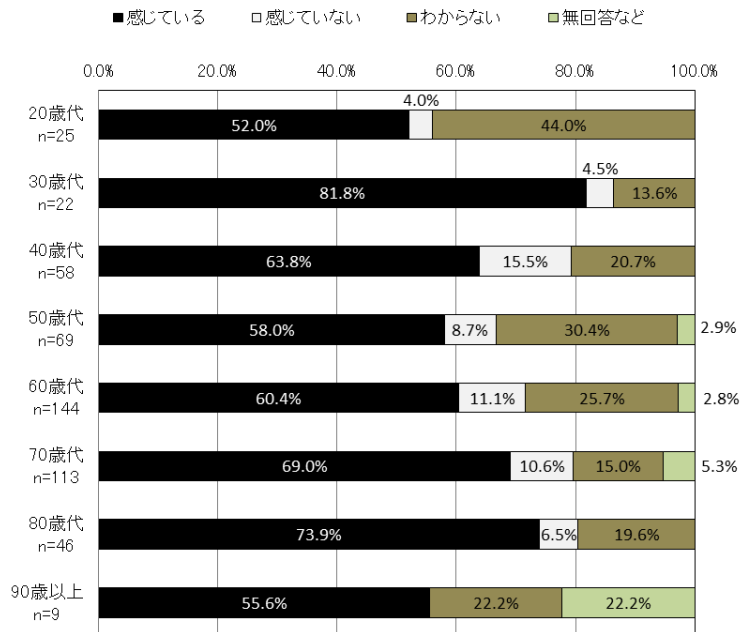
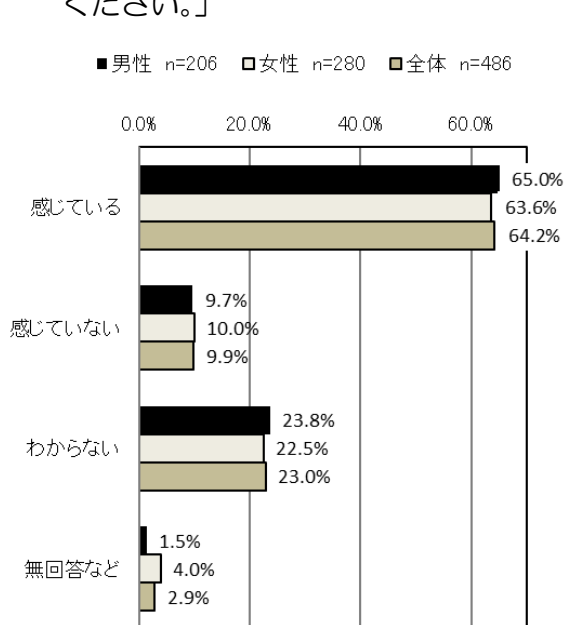
「あなたは、いつもとっている睡眠で休養が充分にとれていると思いますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



「充分にとれている」、「まあとれている」との回答が男女とも多く、約7割の方が睡眠・休養が取れていると感じていた。

問46 生きがいについて

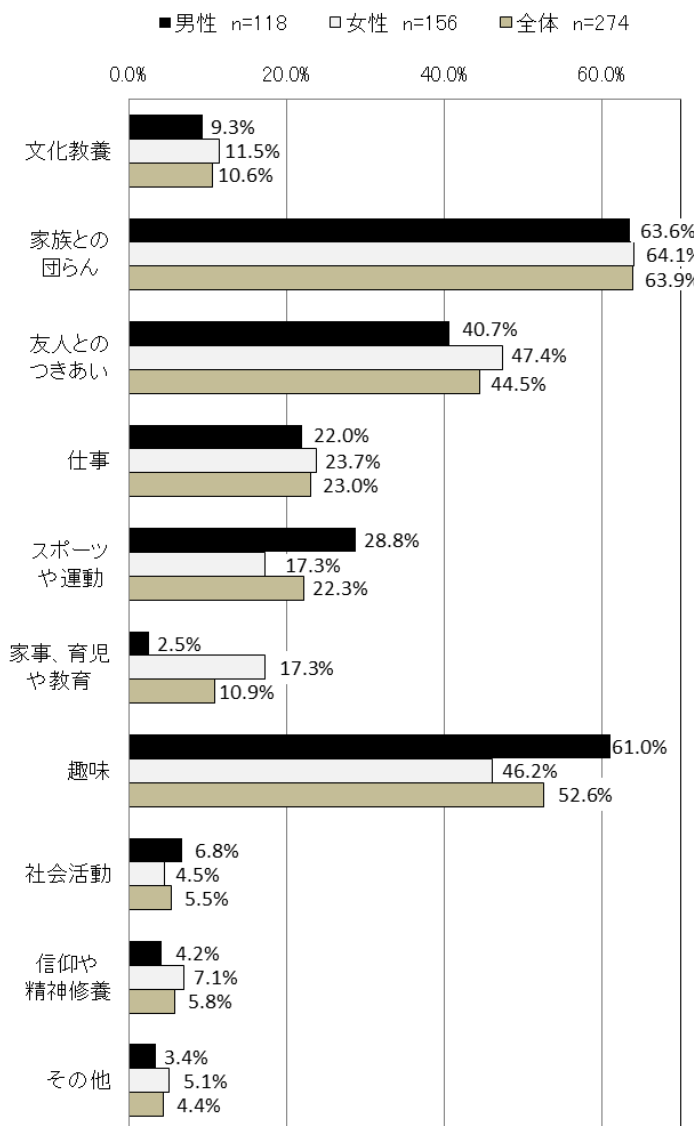
「あなたは、生活の中で生きがいを感じていますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



男女ともに6割以上の方が生きがいを「感じている」と回答したが、男女ともに2割以上の方が「わからない」と回答した。

問47 生きがいを感じる活動について

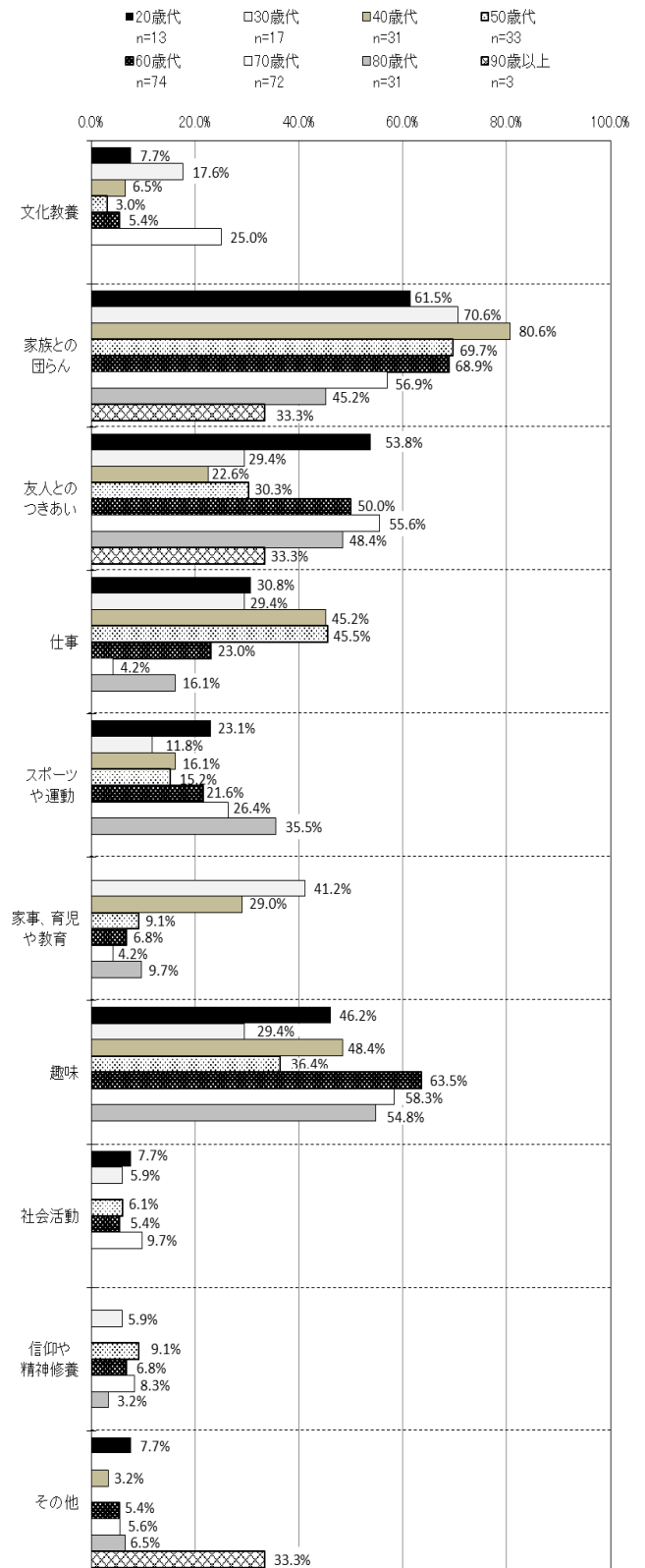
「問46で「1」を選んだ方にお尋ねします。生きがいを感じているものは、何ですか。該当する番号を3つまで選んで○印をつけてください。」



男女ともに6割以上が、「家族との団らん」と回答していた。「家族との団らん」に次いで、男性は「趣味」が6割以上と女性より高いが、女性は「友人とのつきあい」が4割以上であった。

その他の回答（自由記載 10件）

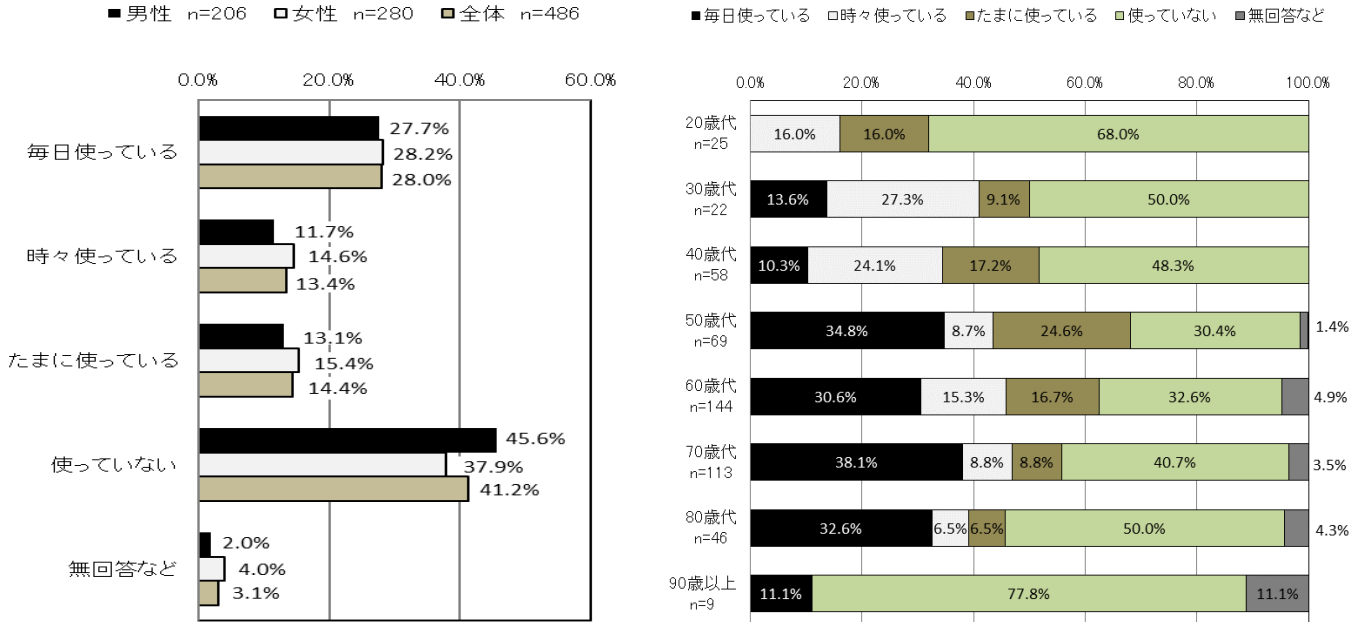
- ・子や孫の成長（4件）
- ・旅行（2件）
- ・仕事を覚えたとき（1件）
- ・パソコン（1件）
- ・動物（1件）



vii)口腔保健の行動・知識の有無について

問48 歯間清掃用具の使用状況について

「あなたは、歯磨きの際に歯間ブラシ又はデンタルフロス（糸ようじを含む）を使っていますか。該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」

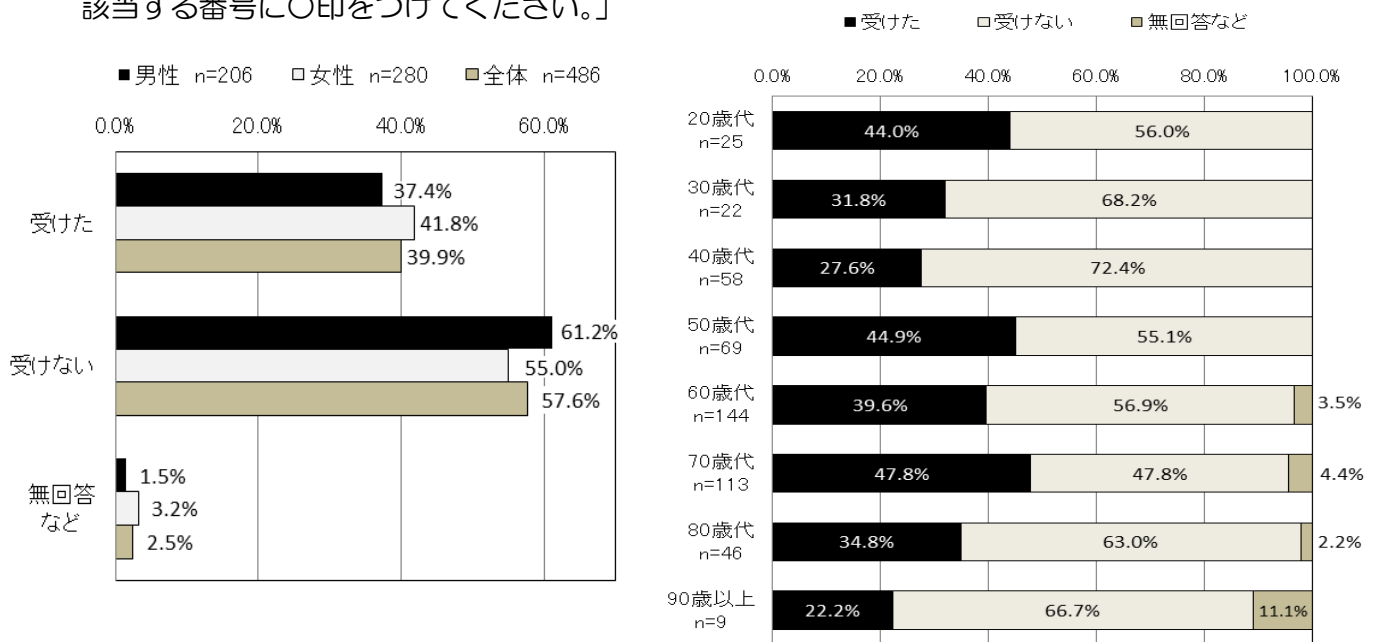


全体で、歯間清掃用具を「毎日使っている」、「時々使っている」（週に1～6日）と回答した方は41.4%となった。

年代別では、50歳代から80歳代で「毎日使っている」が各年代30%を超えた。

問49 歯科医療機関で受ける定期的な歯科健康診査について

「あなたは、歯科医療機関等で定期的（1年に1回以上）に歯科健康診査を受けていますか。該当する番号に○印をつけてください。」



全体で定期的に歯科健診を「受けている」と回答した方が39.9%であった。

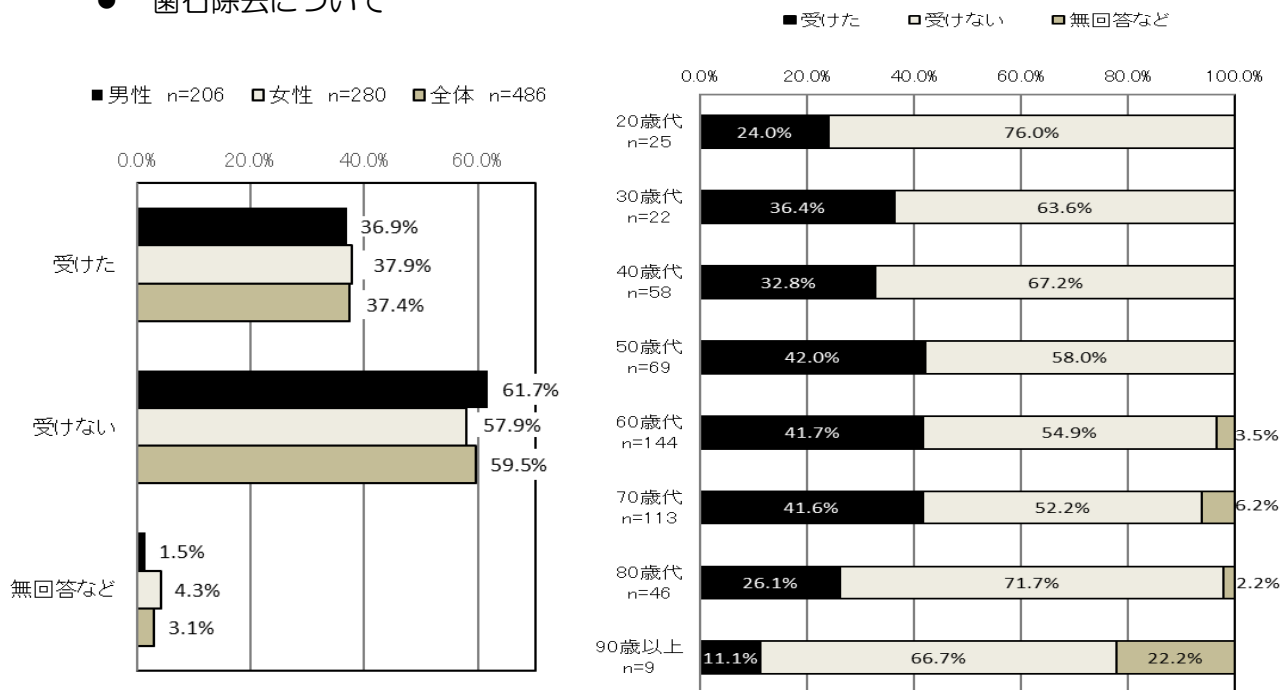
男性37.4%、女性41.8%であり有意差はなかった。(P>0.05)

問50 歯科医療機関で受ける定期的な歯石除去や歯面清掃について

「あなたは、歯科医療機関等で、定期的（1年に1回以上）に歯石の除去や歯面清掃を受けていますか。該当する番号に○印をつけてください。」

※「歯面清掃」とは、歯科医師または歯科衛生士による専用器具を使った清掃のことを意味し、歯磨き指導は含みません。

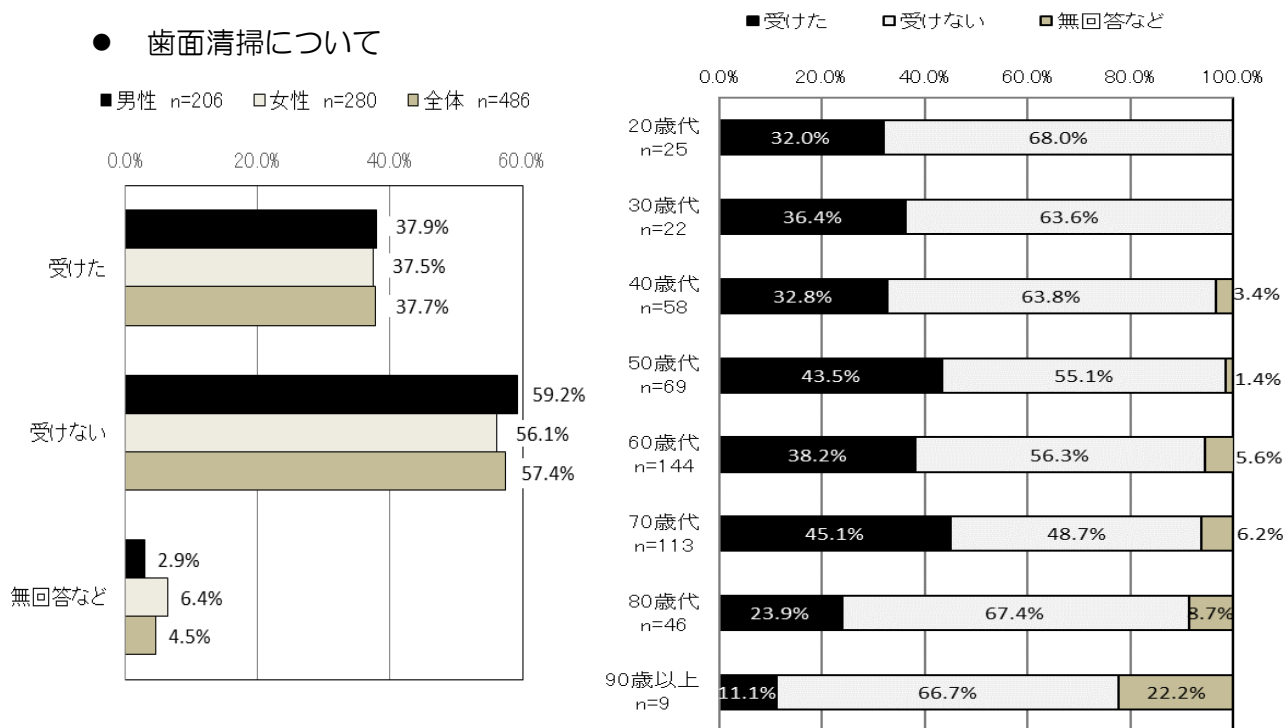
● 歯石除去について



全体で定期的に歯石除去を「受けている」と回答した方は、37.4%であった。

年代別では、50歳代が最も高く42.0%であり、60歳代41.7%、70歳代41.6%となった。

● 歯面清掃について



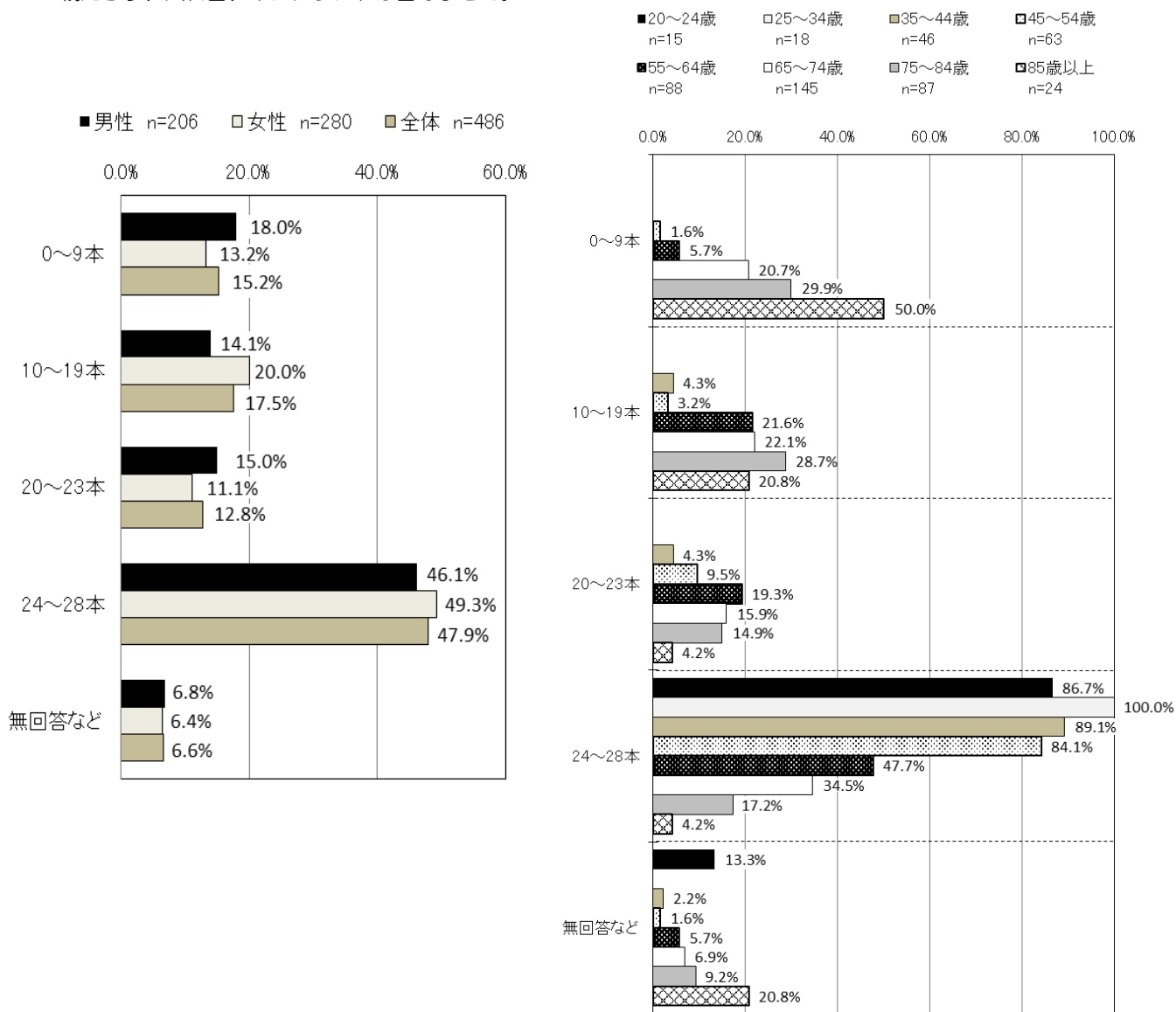
全体で定期的に歯面清掃を「受けている」と回答した方は、37.7%であった。

年代別では、70歳代がもっとも高く45.1%、次いで50歳代43.5%、60歳代38.2%となった。

問51 歯の本数について

「自分の歯は何本ありますか。口の中に本数を記入してください。」

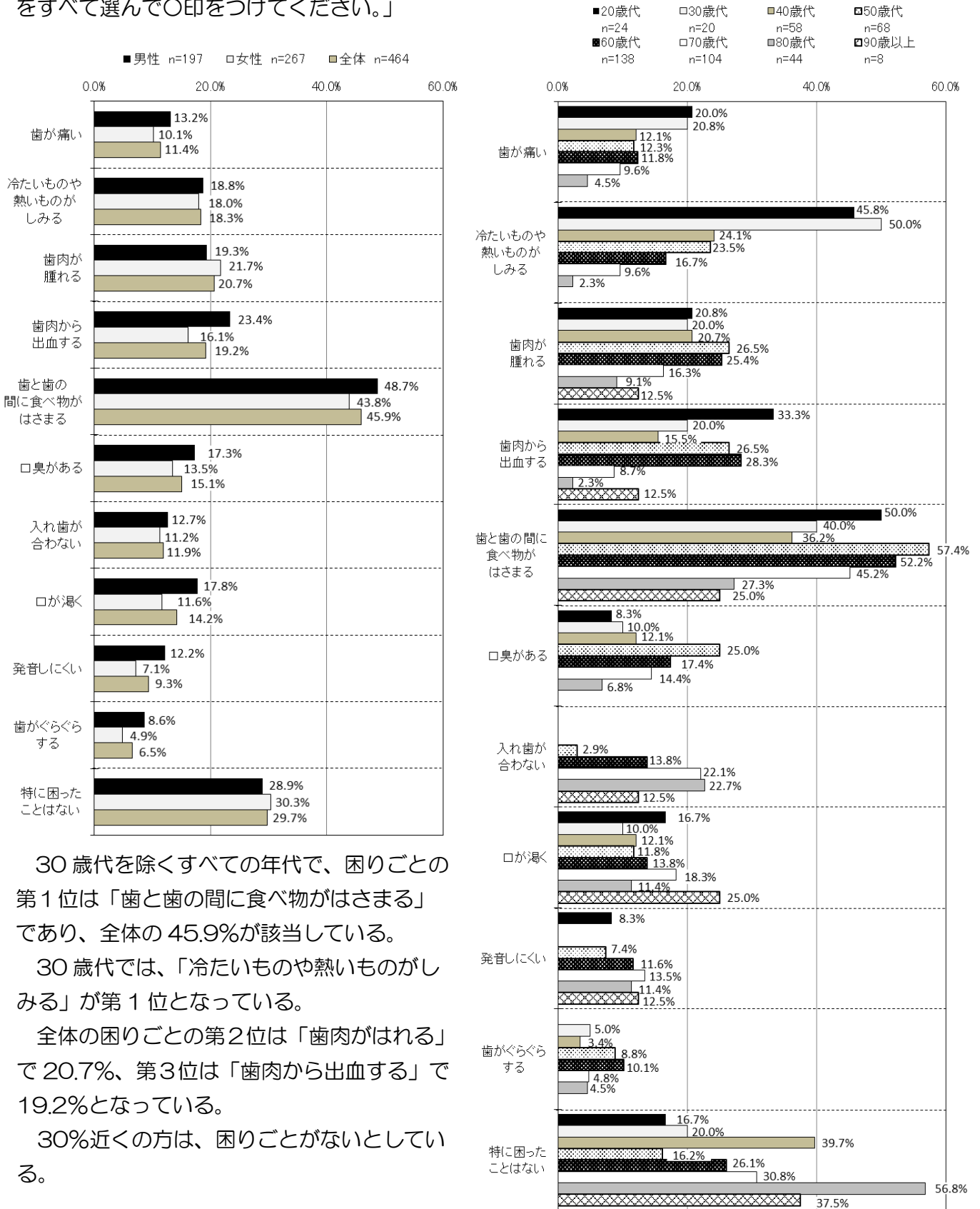
※歯を抜いたことがない人は通常 28 本あります。かぶせた歯、さし歯、根だけ残っている歯も本数に含めます。
親知らず、入れ歯、インプラントは含めません。



自己申告の現在歯数は、ほとんどある（24～28本）と回答した方は、25～34歳で100%、35～44歳で89.1%、45～54歳で84.1%、55～64歳で47.7%、65～74歳で34.5%、75～84歳で17.2%であった。

問52 困っていることについて

「あなたは、この一年間に以下の項目のようなことで困ったことがありましたか。該当する番号をすべて選んで○印をつけてください。」



30歳代を除くすべての年代で、困りごとの第1位は「歯と歯の間に食べ物がはさまる」であり、全体の45.9%が該当している。

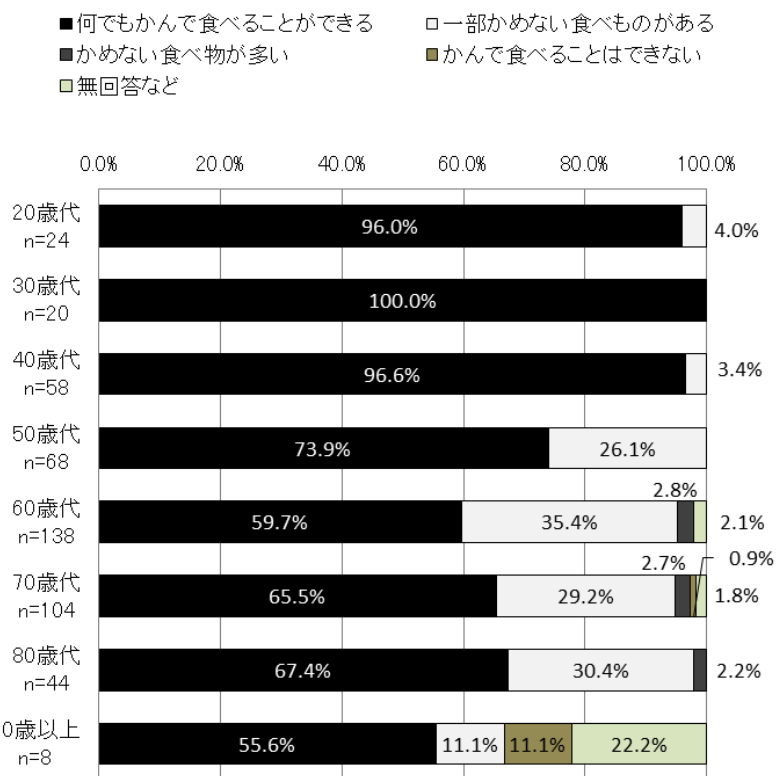
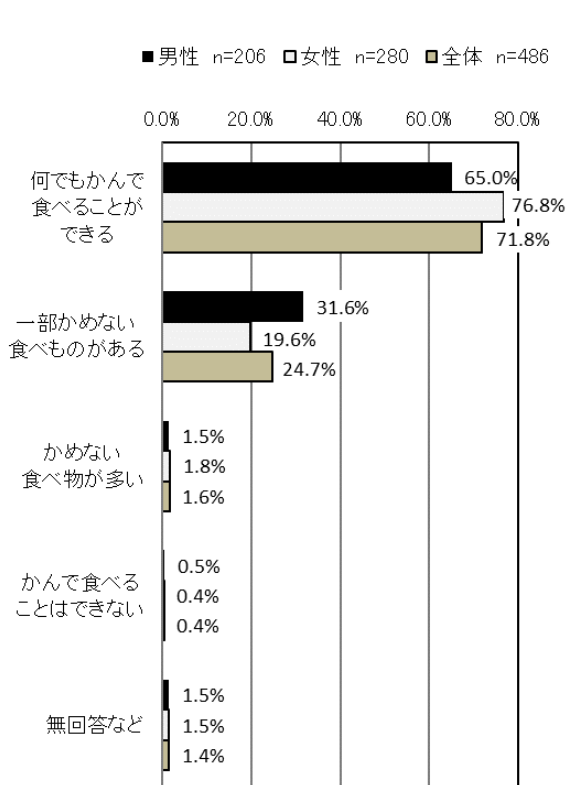
30歳代では、「冷たいものや熱いものがしみる」が第1位となっている。

全体の困りごとの第2位は「歯肉がはれる」で20.7%、第3位は「歯肉から出血する」で19.2%となっている。

30%近くの方は、困りごとがないとしている。

問53 かねで食えるときの状態について

「かねで食えるときの状態について、該当する番号を1つ選んで○印をつけてください。」



「何でもかねで食えることができる」と回答した割合は、男性 65.0%、女性 76.8%であり、女性の方が 11.8 ポイント高かった。

年代別では、40 歳代では、96.6%の方が「何でもかねで食えることができる」と回答しているが、50 歳代では 73.9%に、60 歳代では 59.7%まで減少している。